



フーゴR両支持 1台用 基本・延長・連棟

このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためにも、各種表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容および指示にしたがってください。



■本書の見かた

この取付説明書では、以下のような記号、記載、アイコンを使用しています。

安全に関する記号と説明

-  **警告** ・ 取扱いを誤った場合に使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示します。
-  **注意** ・ 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれのある内容を示します。

情報に関する記号と説明

-  **お願い** ・ 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
・ 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
-  **補足** ・ 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

ネジ等の締結部品の記号

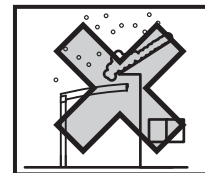
ネジやナット等の締結部品を記号で示しています。(例：1-1、1-2、2-3等)
締結部品の種類は「**梱包明細表**」を参照してください。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

□ 施工の前に

注意

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 当製品は簡易型車庫です。物置・遊び場あるいは住居の一部等への転用を目的として、みだりに改造・変更をしないでください。
- 積雪（新雪）20cm（600N/m²）を超えない地域に設置してください。
- 建物の屋根から落雪を直接受けない位置に設置してください。
- 強風地域、特に崖上、屋上、風の通り道上等の施工は避けてください。
- 給湯器や暖房機等の熱排気が製品内にこもるような場所に施工しないでください。
排気による中毒のおそれがあります。
- 一つの現場で同時に異なるサイズを施工する場合は、本来の製品性能を保持するために、部材を間違えないように確認をしてから施工を行なってください。



基礎工事について

注意

- 傾斜地に設置する場合は、低い場所の柱の埋込深さを確保してください。
- コンクリートには、塩分を含む砂（海砂）および塩素系強アルカリのコンクリート用混和材（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤等）は使用しないでください。使用するとアルミ等の金属が腐食する原因になります。
- コンクリート強度は18N/㎠以上で施工してください。
- 設置する場所の条件により、基礎サイズが変わります。性能を発揮するためには、下記のような現地条件に応じて施工してください。①地盤の堅牢/軟弱さ（地耐力等）、②地盤内の埋設物の有無、③隣地境界線近くの設置、④別の構造物の基礎近くの設置
- 本書の基礎サイズは地耐力を100 kN/㎡として記載しております。地耐力が異なる場合は基礎サイズが変わります。
- 柱内の水抜きができるよう、基礎には必ず碎石などを敷き、柱と基礎の付け根部に水抜き穴（φ6）をあけてください。柱内に水が溜まると凍結膨張や腐食により柱が破損するおそれがあります。
- 養生期間は十分にとり、その間に重い物をのせたり、振動を与えないでください。

お願い

- モルタルやコンクリート等が製品の表面に付着した場合は、速やかに拭取ってください。シミやムラ等の外観不良の原因になります。

施工上のご注意

注意

- 「使用上の注意」ラベルを貼っている柱に縦樋を取付けると、表示が見えなくなり、正しく注意を促すことができなくなります。縦樋を取付けない側に表示ラベルを向けてください。
- アルミ製品が垂鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 製品の改造や、指定箇所以外の穴加工はしないでください。
- 水濡れの原因になりますので、指定の箇所にシーリングをしてください。
- シリコンシーリング材を使用する場合は、ポリカーボネート板のひび割れ等の原因になりますので、当社指定の脱アルコール系シーリング材を使用してください。
- 製品の強度低下、またはケガのおそれがありますので、ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を使い、下記の推奨締め付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。
 - ※φ4ネジ：2.5N・m±0.5N・m（25±5kgf・cm）
 - ※φ5ネジ：3.0N・m±0.5N・m（30±5kgf・cm）
 - ※M8ボルト：20.0N・m±0.5N・m（200±5kgf・cm）

シーリング材メーカー	品名および品番
信越化学工業（株）	シーラント72
モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン(合)	トスシール380
ダウ・東レ（株）	SE960

□ 施工上のご注意

📌 お願い

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ※ 作業服および保護具（保護帽、安全带、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
 - ※ 作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
 - 特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ※ 器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ※ 作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ※ 作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
 - ※ 万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 製品についての汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は、補修塗料で補修してください。

□ 施工の後に

⚠️ 注意

- ボルト、ネジの締め忘れがないか確認し、ゆるんでいる場合は締めなおしてください。

📌 お願い

- 取扱説明書は施主様にお渡しください。

□ 表示マーク



独立基礎
施工の場合



土間コン
施工の場合



偏心基礎
部材を使用して
施工する場合



柱位置を移動して
施工する場合



柱を内側位置に
移動して
施工する場合



「縦連棟」を施工する場合



「14延長」を施工する場合



W27の場合



W30の場合



シーリング箇所

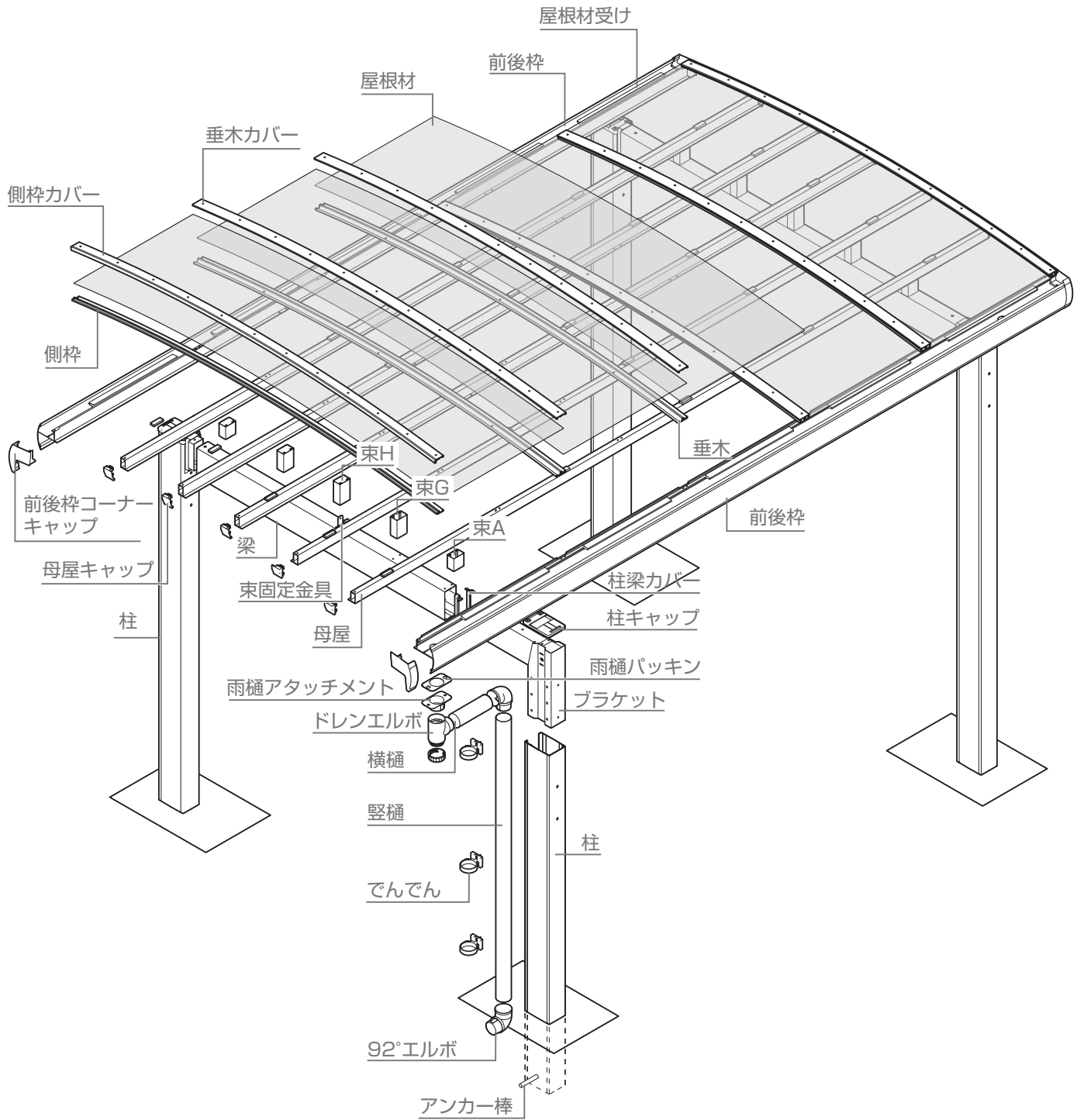


オプション製品

目次

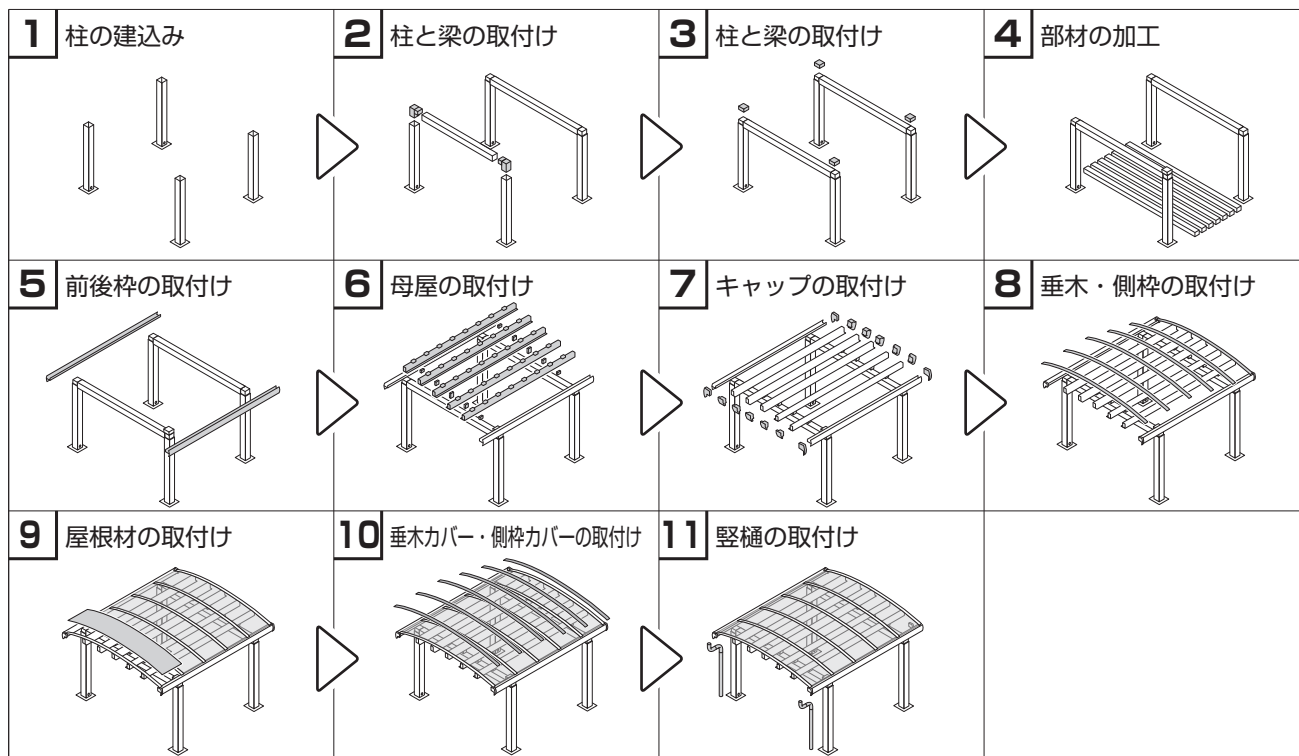
各部名称	5	1-11 対角寸法の確認	19
1 基本タイプの施工方法	6	1-12 垂木・側枠の取付け	19
1-1 施工の流れ	6	1-13 屋根材の取付け	20
1-2 確認事項	7	1-14 垂木カバー・側枠カバーの取付け	21
1-3 基礎寸法の確認	8	1-15 縦樋の取付け	22
1-4 柱の建込み	10	2 連棟タイプの施工方法	23
1-5 柱と梁の取付け	11	2-1 施工の流れ	23
1-6 部材の加工	13	2-2 確認事項	24
1-7 前後枠の取付け	15	2-3 部材の加工	26
1-8 パネル緩衝材の取付け	15	2-4 部材の取付け	27
1-9 母屋の取付け	16	梱包明細表	28
1-10 キャップの組立て	18		

各部名称



1 基本タイプの施工方法

1-1 施工の流れ



1 基本タイプの施工方法

1-2 確認事項

1-2-1 姿図

注意



柱位置を移動して施工の場合

- 柱芯々寸法±100mm以内で柱移動をしてください。



柱を内側位置移動して施工の場合

- 片側300mm以内で柱移動をしてください。
(W27~W30で施工可能です。)

お願い

- 構造計算書を添付して建築確認申請を行なっている場合、構造計算書の基礎寸法で施工してください。
- 柱内の水が抜けるように必ず砕石を敷いてください。



縦連棟の場合 14延長の場合



P.24またはP.25も事前に確認してください。

補足

- ←印は【柱移動】範囲を示します。
- ◊印は【柱内側移動】範囲を示します。



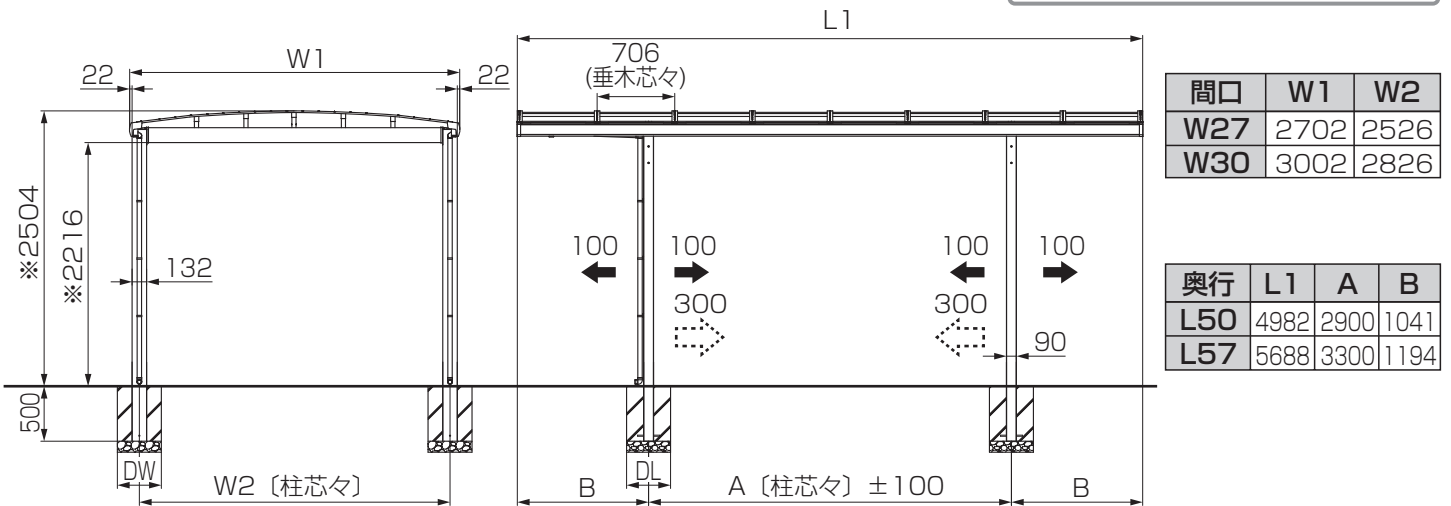
ロング柱の場合

- H寸法(※)に+250してください。



H28柱の場合

- H寸法(※)に+550してください。



1-2-2 基礎の墨出し

1: 柱の埋込み位置を出す

2: 基礎穴を掘る



基礎寸法数値について

基礎寸法「DW」「DL」は「P.8」を参照してください。



下記のオプションを取付ける場合は、対応した取付説明書を併せて参照してください。

【カーポートライト】

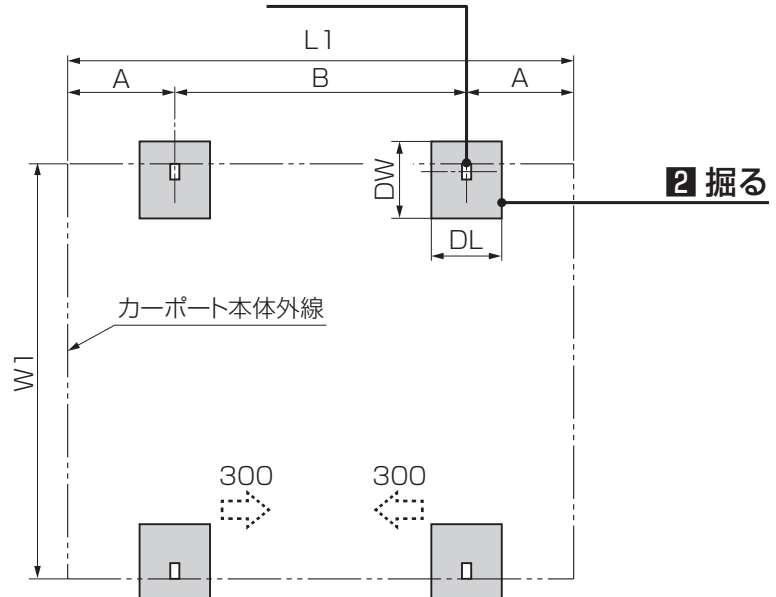
「エスコートスポットライト 取付説明書 (Z542)」

「カーポートライト用台座セット 取付説明書 (Z545)」

【コンセントフレーム】

「コンセントフレーム 取付説明書 (D499)」

1 位置出し



1 基本タイプの施工方法

1-3 基礎寸法の確認



▼縦連棟の場合▼ ▼14延長の場合▼

【縦連棟】、【14延長】も本ページの基礎寸法を参照してください。

1-3-1 基礎寸法表

1:基礎穴寸法を確認する



▼縦連棟で施工する場合▼



組立て方法、基本寸法については【偏芯基礎部材 取付説明書(D349)】も参照してください。

<地耐力100kN/m²の場合>

サイズ (間口)	独立基礎寸法		土間併用基礎	
	DW	DL	DW	DL
W27	400	400	400	350
W30	400	400	400	350

補足

地盤条件ごとの基礎寸法はスマートフォンなどで二次元バーコードを読み取って確認できます。

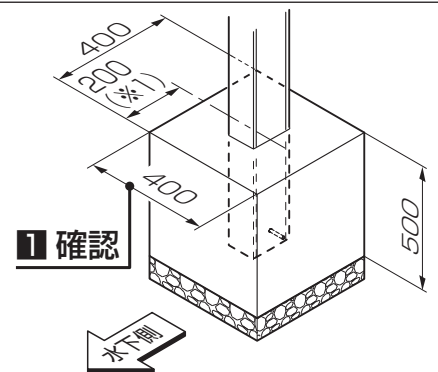


▼独立基礎
仕上げの場合▼

独立基礎

補足

- (※1)は柱芯から柱背面側の基礎端面までの寸法です。

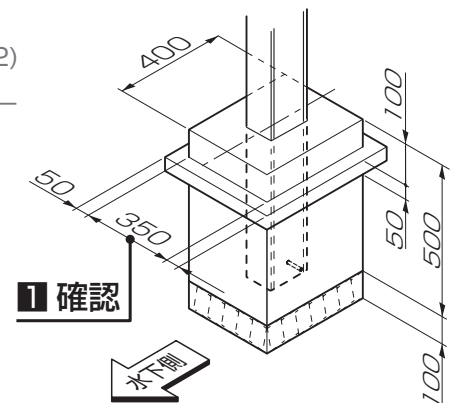
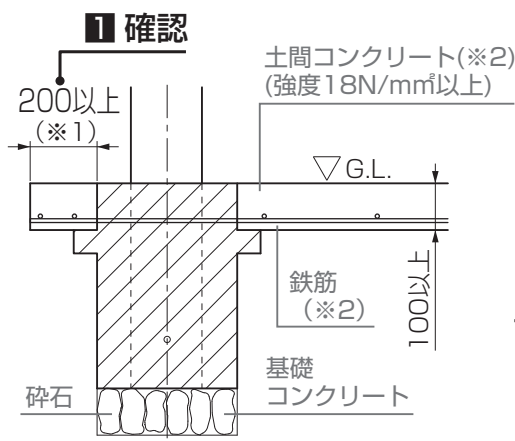


▼土間コンクリート
仕上げの場合▼

土間併用基礎

お願い

- 基礎上面と土間コンクリートの縁端距離は200mm以上になるようにしてください。(※1)
- 土間コンクリートには、鉄筋を敷設してください。(※2)



1 基本の施工方法

1-3 基礎寸法の確認

1-3-1 基礎寸法表

つづき



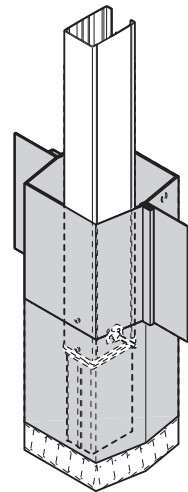
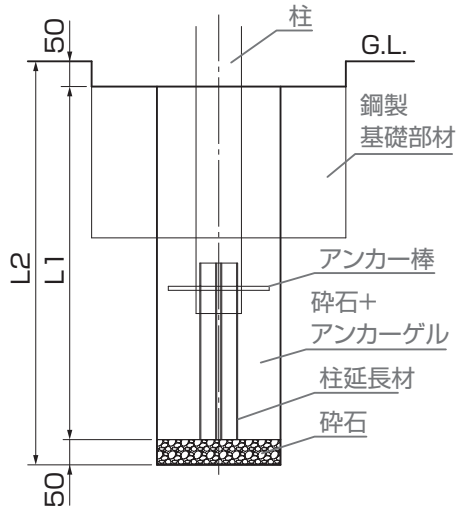
▼ スマートクイック
基礎工法の場合 ▼

独立基礎

	L1	L2
フーゴ R/F/A ネスカ R/F カーポート SC	700	800
フーゴ R袖壁	800	900



組立て方法、基本寸法については【スマートクイック基礎工法 独立基礎仕様 取付説明書 (EXM-203)】も参照してください。

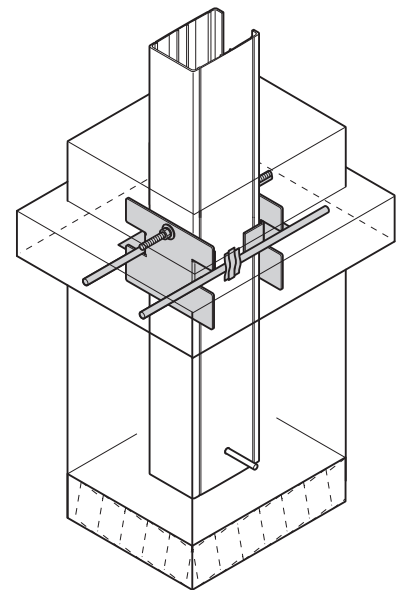
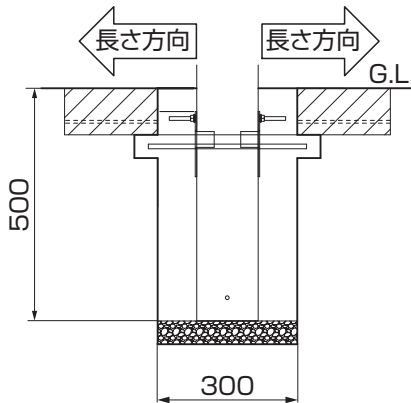
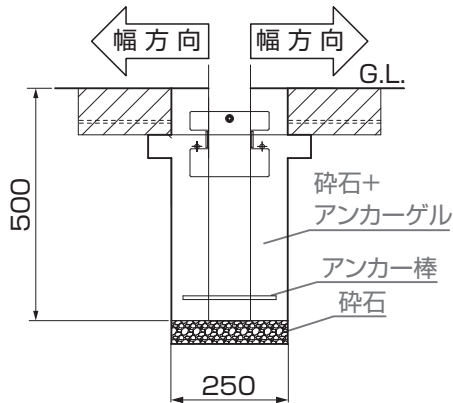


▼ スマートクイック
基礎工法の場合 ▼

土間併用基礎



組立て方法、基本寸法については【スマートクイック基礎工法 土間コンクリート併用基礎仕様 取付説明書 (EXM-204)】も参照してください。



▼ 偏芯基礎部材を
取付ける場合 ▼

偏芯基礎

補足

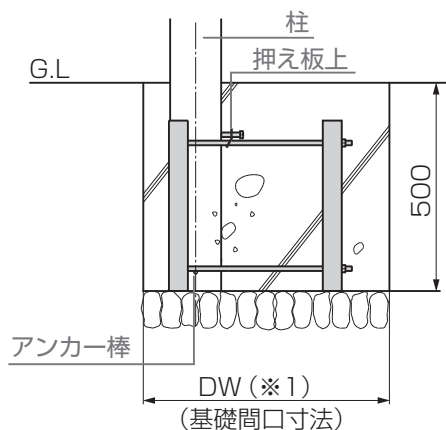
- (※1) は独立基礎と同じ寸法になります。



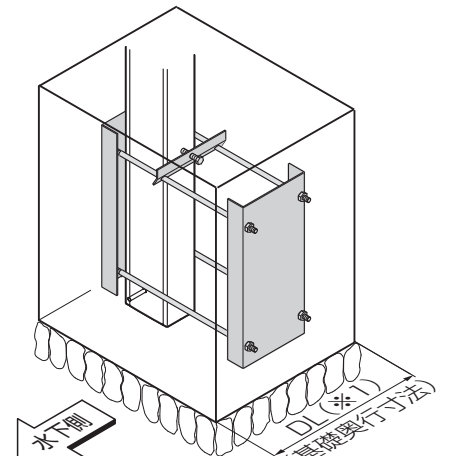
組立て方法、基本寸法については【偏芯基礎部材 取付説明書 (D349)】も参照してください。

補足

地盤条件ごとの基礎寸法はスマートフォンなどで二次元バーコードを読み取って確認できます。



■ 確認



1 基本タイプの施工方法

1-4 柱の建込み

1-4-1 柱の建込みの準備

1: 柱にアンカー棒を取付け

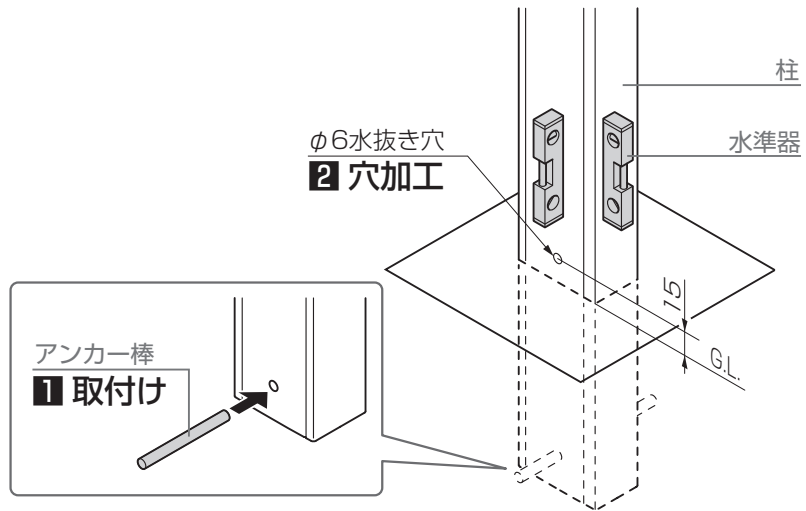
2: 柱にφ6の水抜き穴加工

注意

- 水抜き穴をあけないと、柱が破損するおそれがあります。

お願い

- 柱の垂直を確認してください。

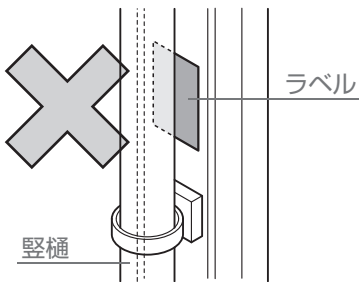


1-4-2 柱の建込み

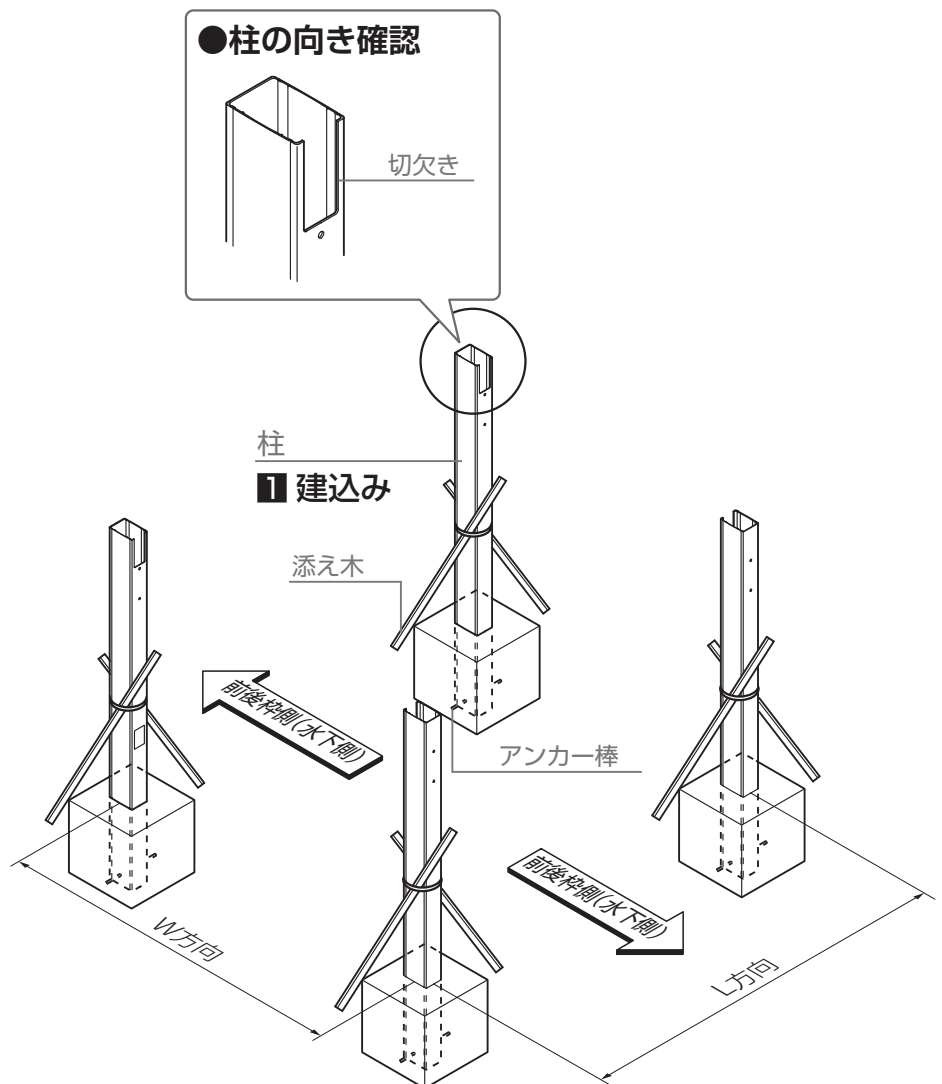
1: 柱を建込み

注意

- 柱を建てこむ際は「使用上の注意」ラベルが、縦樋でかかれないように柱を建込んでください。



- 基本寸法を確認して柱の対角寸法、ピッチ、垂直を確認してください。



1 基本タイプの施工方法

1-5 柱と梁の取付け

1-5-1 柱と梁の取付け

💡 お願い

● 緩み止め剤硬化後にボルトを「緩めたり、締めたり」しないでください。緩みやすくなる場合があります。(締付け後、約24時間で硬化します。)

1: 梁をブラケットに差込み

2: 梁をブラケットに【6-1】で取付け



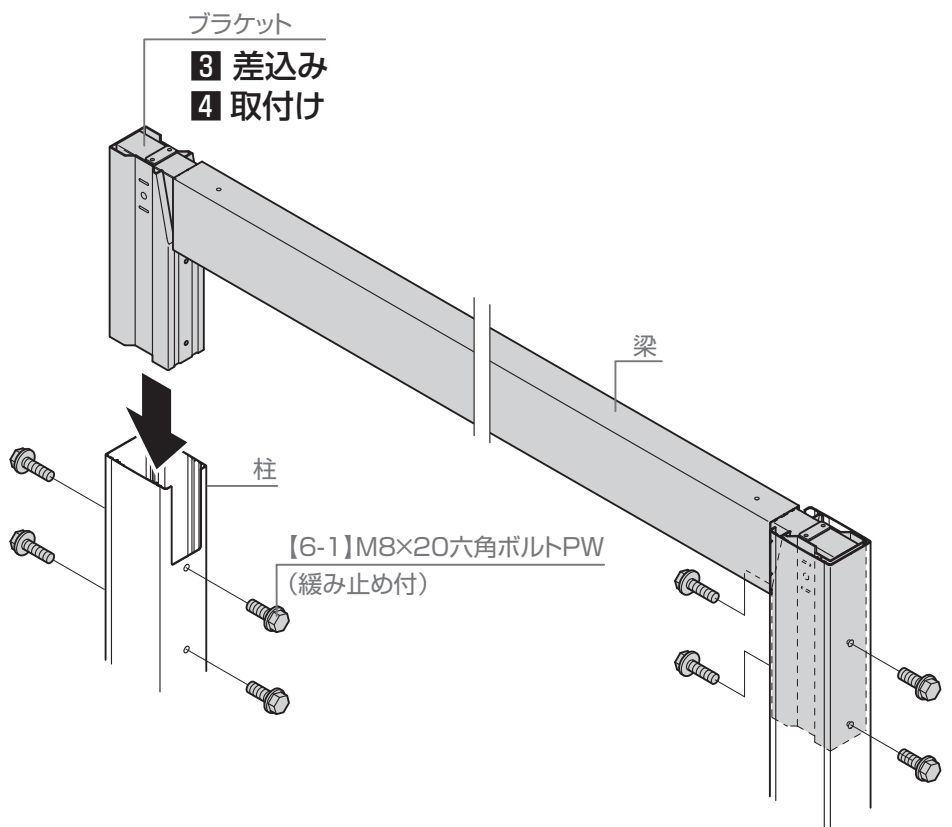
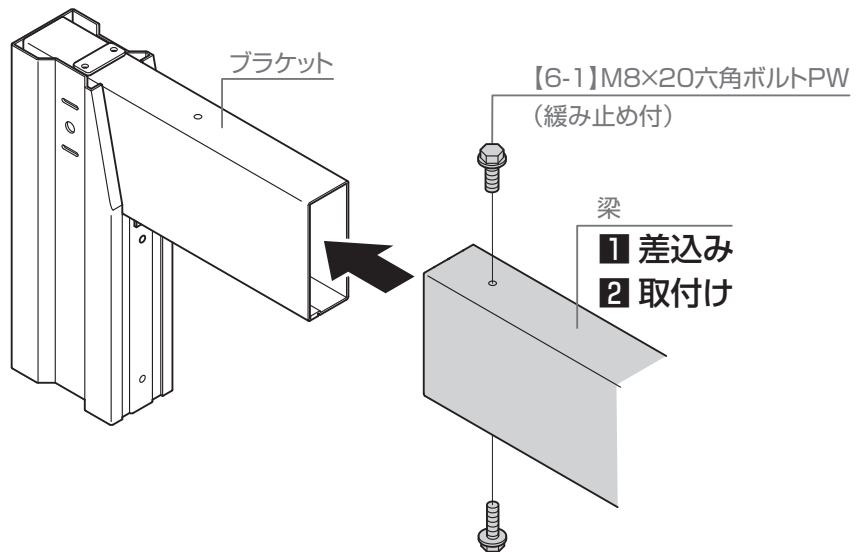
下記のオプションを取付ける場合は、対応した取付説明書を併せて参照してください。

【物干しセット】

「物干しセット 取付説明書 (D610)」

3: ブラケットを柱に差込み

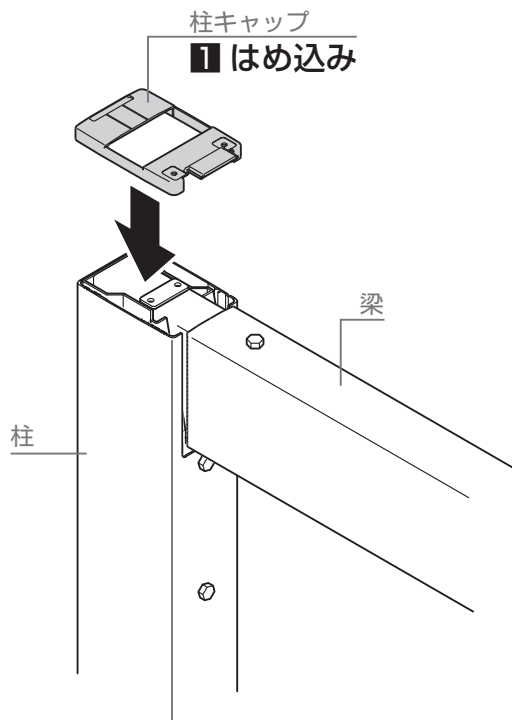
4: ブラケットを柱に【6-1】で取付け



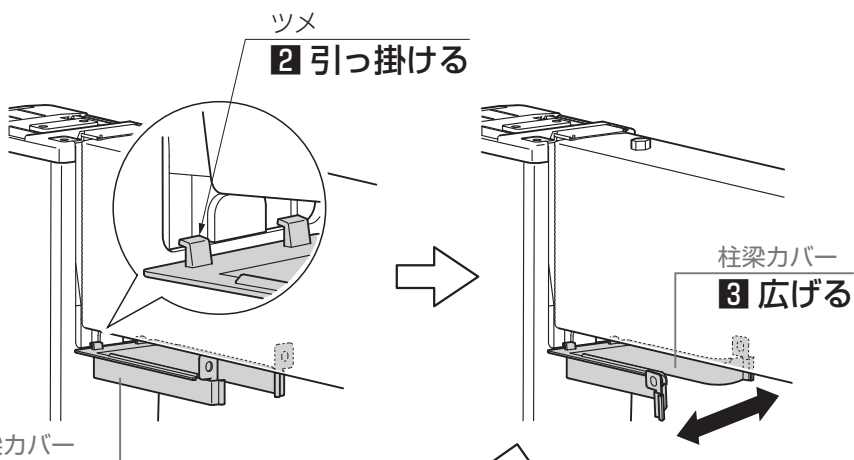
1-5 柱と梁の取付け

1-5-2 柱キャップの取付け

1: 柱キャップを柱にはめ込み



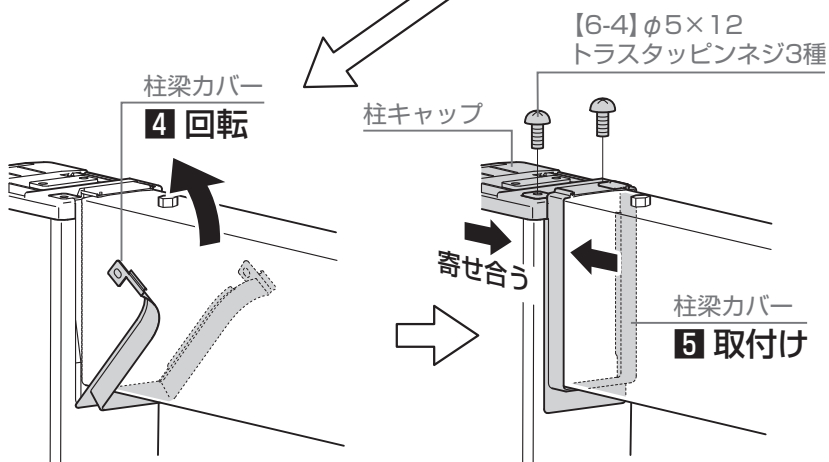
2: 柱梁カバーのツメを柱の切欠き部に引っ掛ける



3: 柱梁カバーを広げる

4: 柱梁カバーを回転させる

5: 柱梁カバーを柱キャップに【6-4】で取付け



補足

- 柱キャップと柱梁カバーを寄せ合いながら取付けてください。
- この段階では、柱キャップ・柱梁カバーは多少ガタツキます。

1 基本タイプの施工方法

1-6 部材の加工

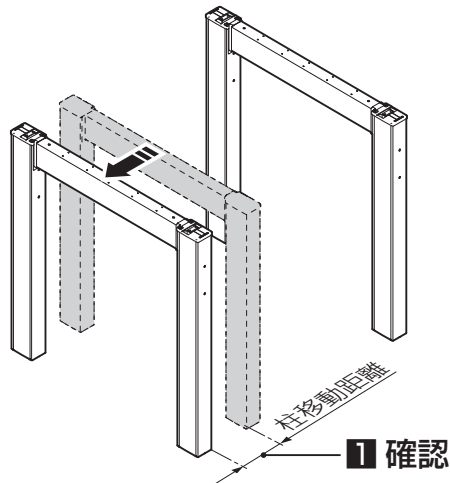


柱位置を移動して
施工の場合



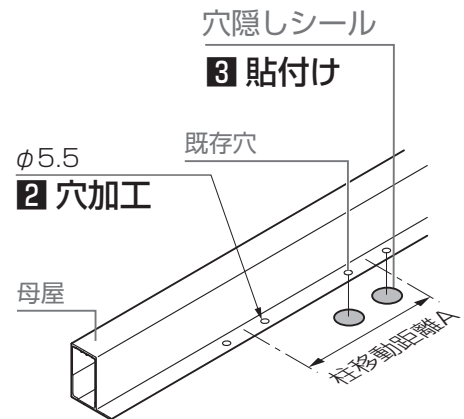
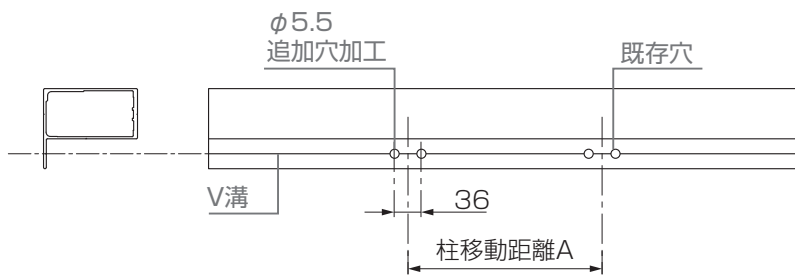
柱を内側位置移動して
施工の場合

1: 柱移動距離を確認



2: 母屋にφ5.5の穴加工

3: 既存穴に穴隠しシールを貼付け



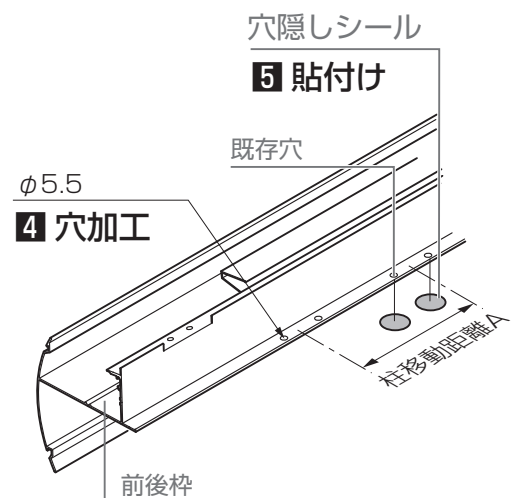
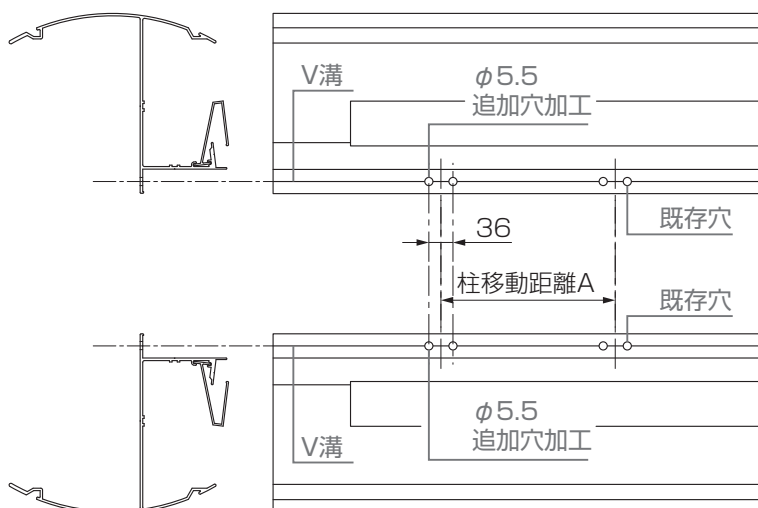
4: 前後枠にφ5.5の穴加工

5: 既存穴に穴隠しシールを貼付け



補足

●前枠と後枠は同部材です。



1 基本タイプの施工方法

1-6 部材の加工

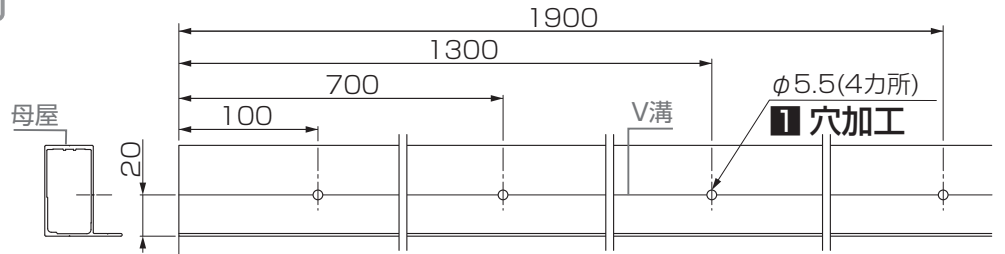


柱を内側位置移動して
施工の場合

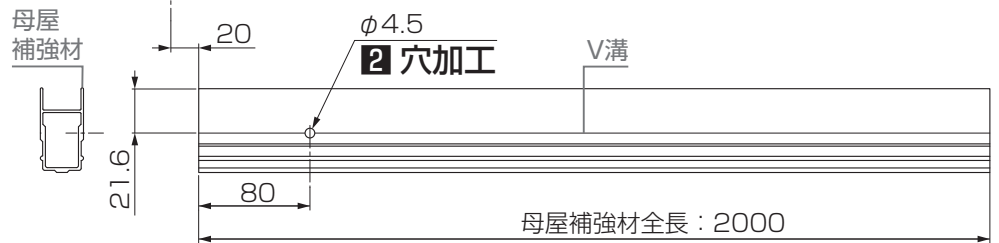
補足

- 母屋補強材の取付けを行いません。
(柱移動側の補強作業です。)

1: 母屋の側面にφ5.5の穴加工

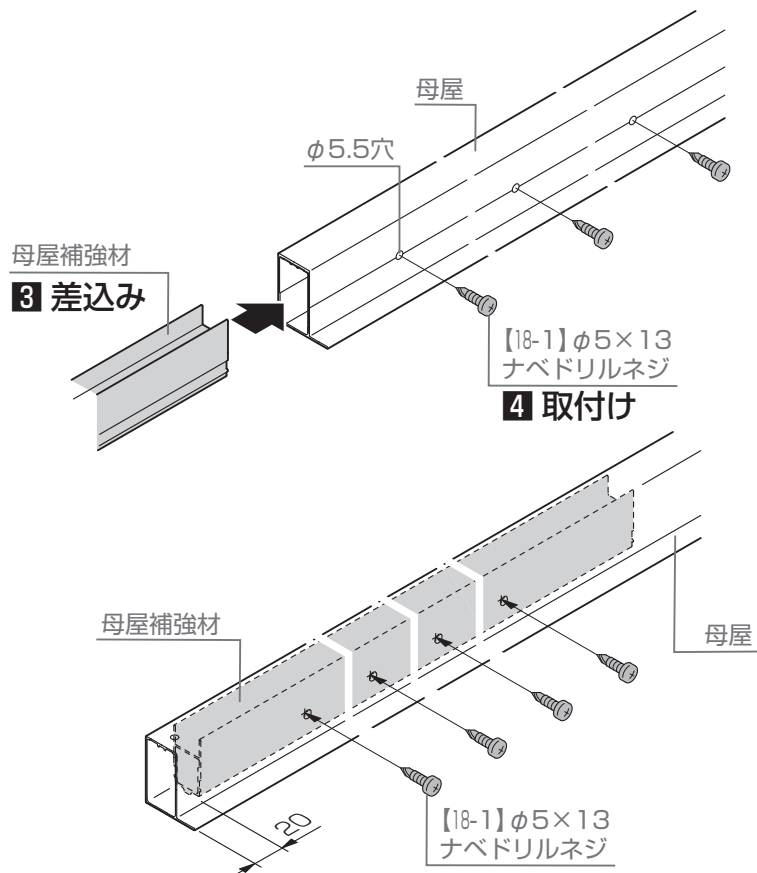


2: 母屋補強材の側面にφ4.5の穴加工



3: 母屋補強材を母屋に差込み

4: 母屋補強材を母屋に【18-1】で取付け



1 基本タイプの施工方法

1-7 前後枠の取付け



▼縦連棟の場合▼
▼14延長の場合▼

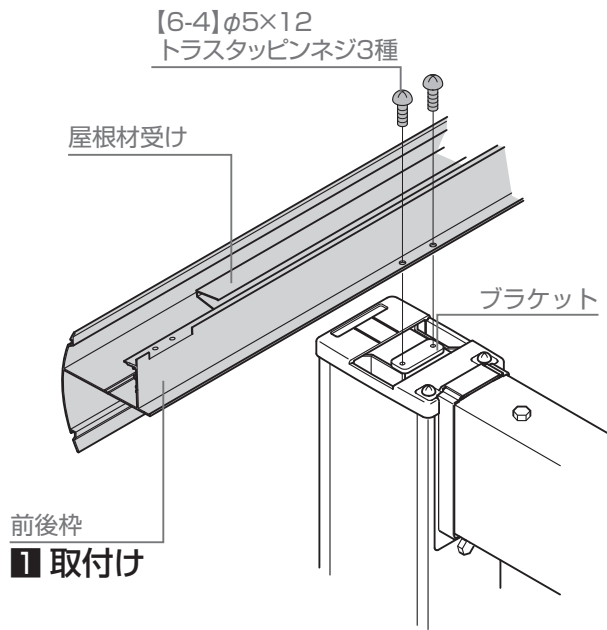
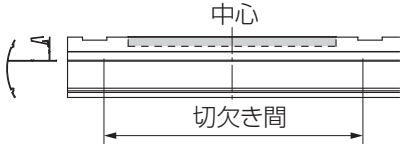


P.26も事前に確認してください。

1: 前後枠をブラケットに【6-4】で取付け

お願い

●屋根材受けを下図の位置に移動させてください。

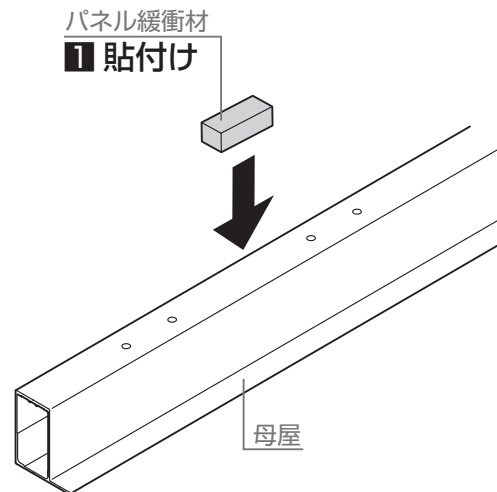
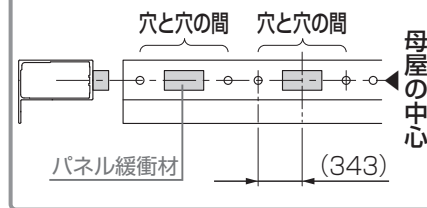


1-8 パネル緩衝材の取付け

1: パネル緩衝材を母屋に貼付け

お願い

●パネル緩衝材は下図の位置に貼付けてください。



1 基本タイプの施工方法

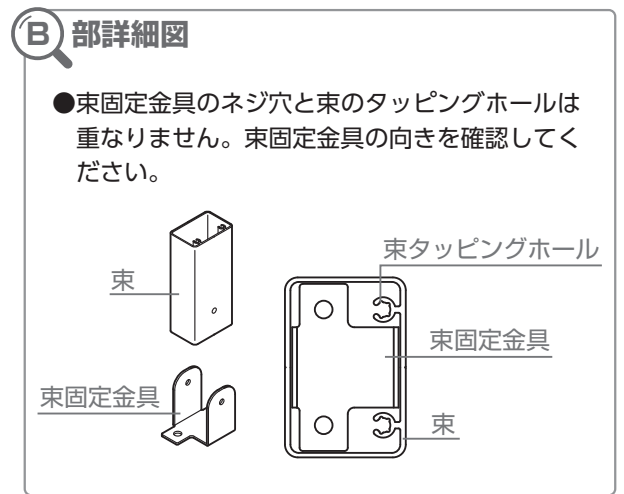
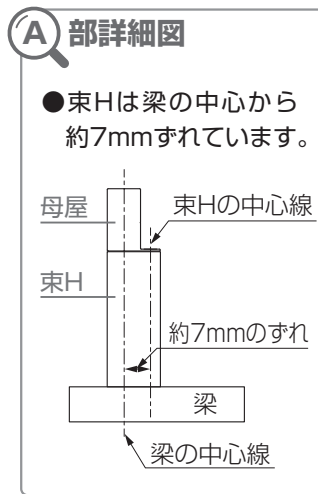
1-9 母屋の取付け

1-9-1 母屋と束の取付方法・取付位置の確認

1: 束の取付け位置を確認

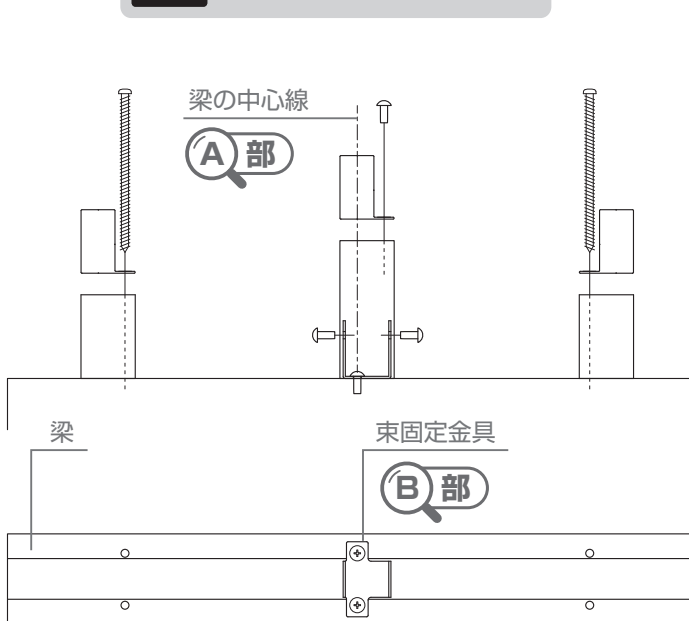
束の取付け位置と種類

名称	略図	束固定金具	取付けネジ
束A A		不要	【6-3】 φ5×110ナベ タッピンネジ
束H H		不要	【6-3】 φ5×110ナベ タッピンネジ
束G G		×1	【6-4】 φ5×12トラス タッピンネジ3種



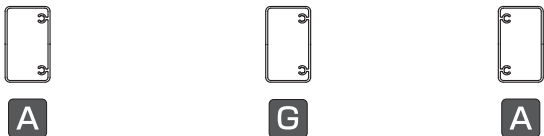
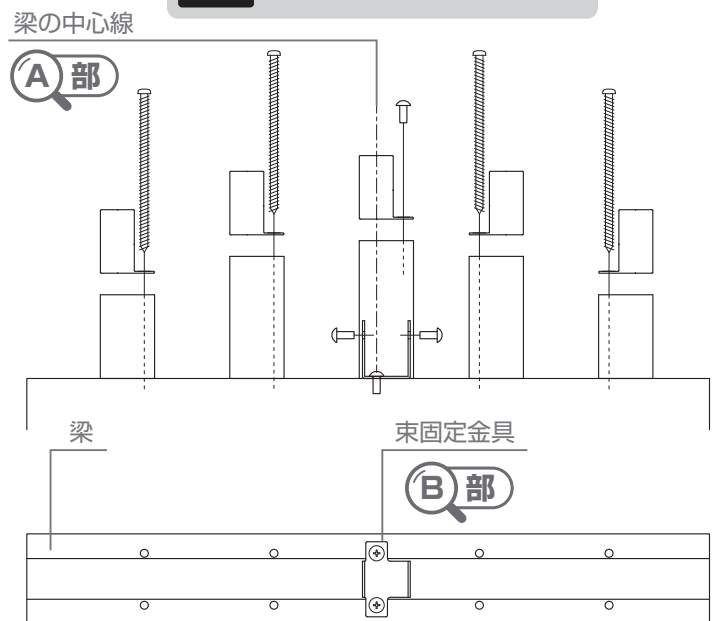
W27

▼ W27の場合 ▼

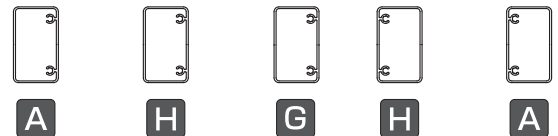


W30

▼ W30の場合 ▼



タッピングホールを中央寄りに向ける



タッピングホールを中央寄りに向ける

お願い

●束と金具の向きはすべての梁で同じ向きに揃えてください。

1 基本タイプの施工方法



▼縦連棟の場合▼
▼14延長の場合▼

P.23



「連棟タイプの施工方法」も
確認してください。

1-9 母屋の取付け

つづき

1-9-2 母屋の取付け

1: 束固定金具を梁に【6-4】で取付け

お願い

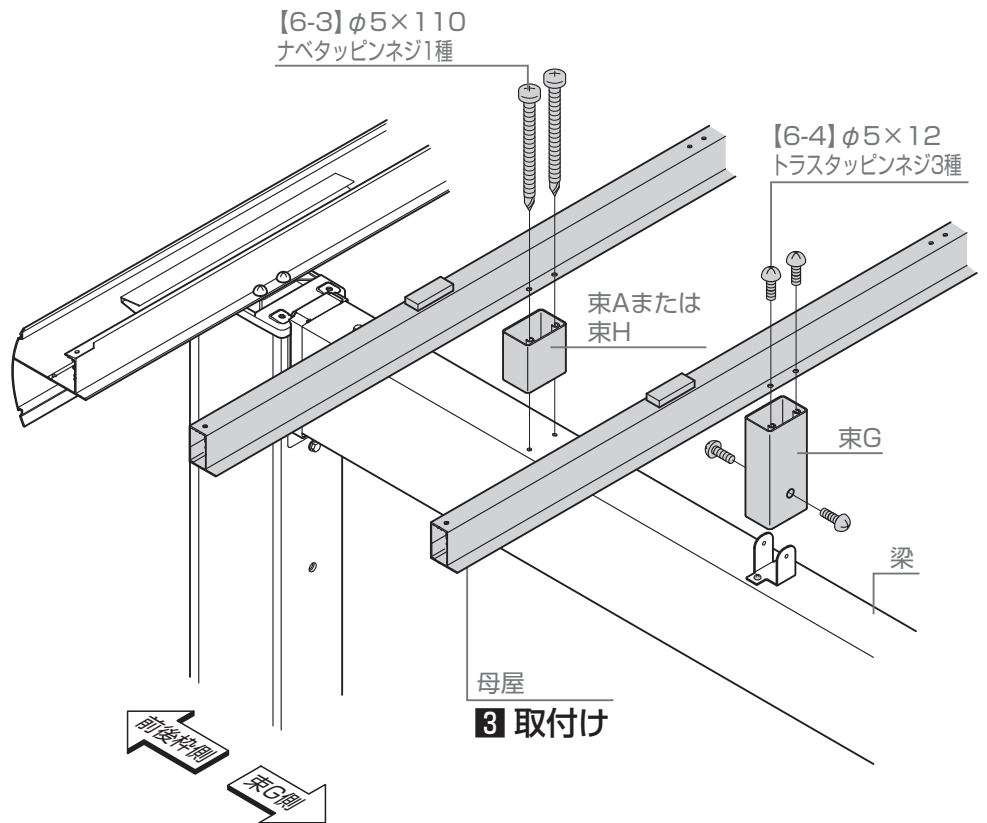
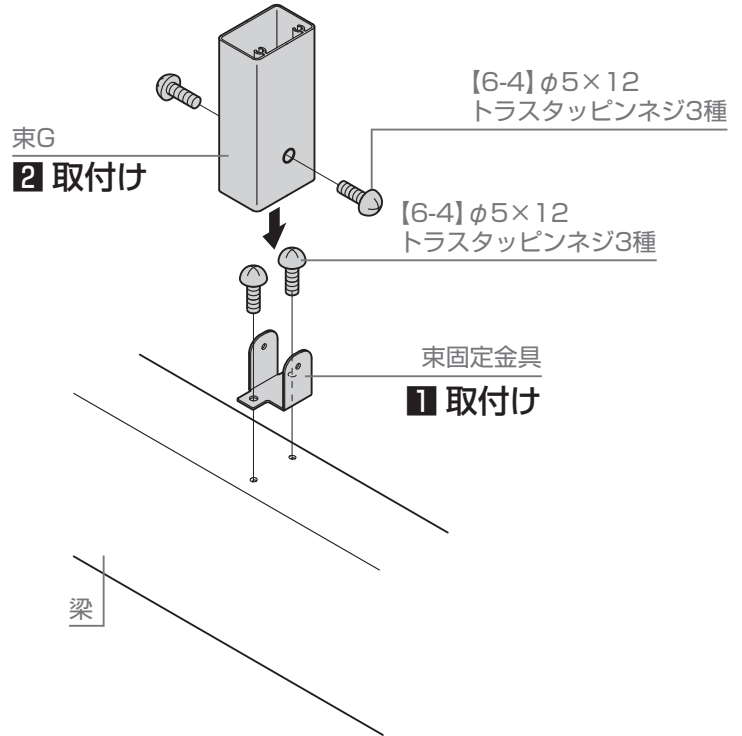
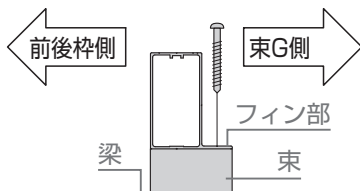
- 束Gを取付ける箇所のみ取付けてください。
- 束固定金具の向きを再度確認してください。

2: 束Gを束固定金具に【6-4】で取付け

3: 母屋を束と梁に【6-3】で取付け

お願い

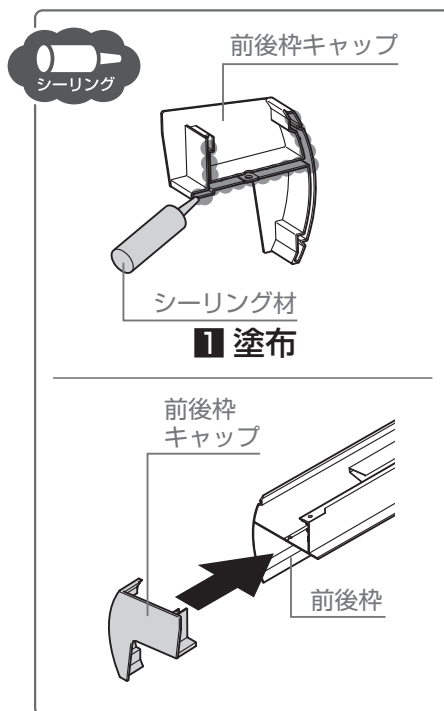
- 母屋のフィンは、束G方向に向けてください。



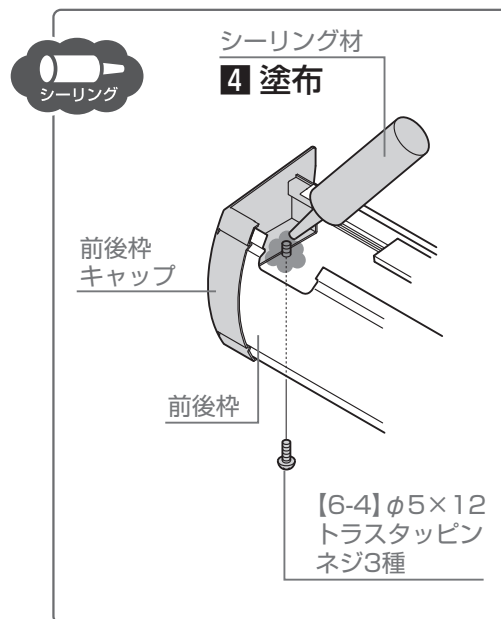
1 基本タイプの施工方法

1-10 キャップの組立て

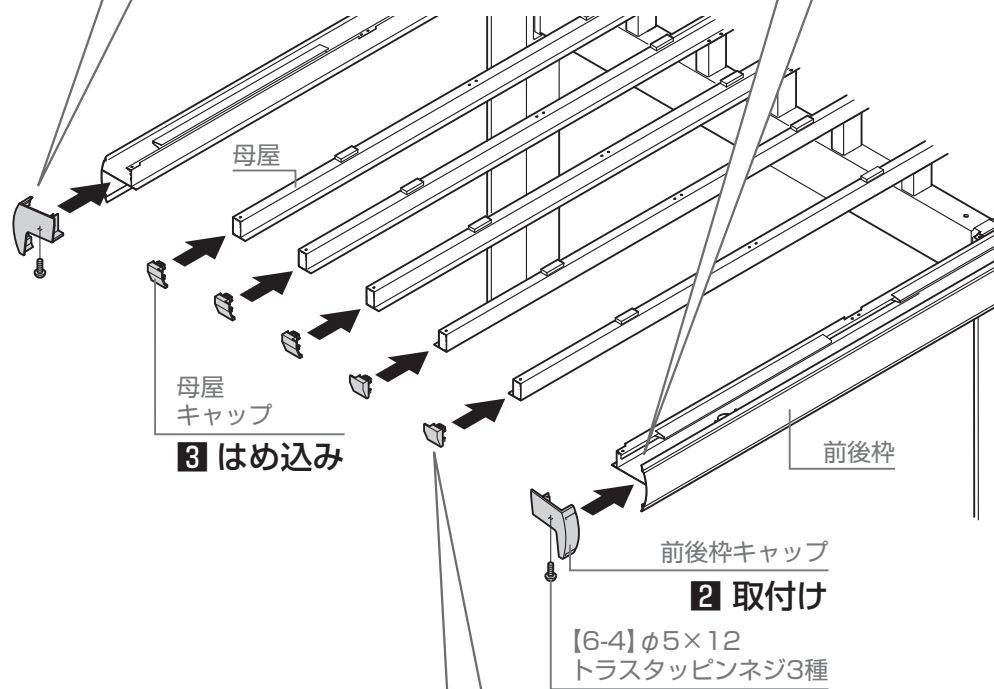
1: 前後枠キャップ、母屋キャップに
シーリング



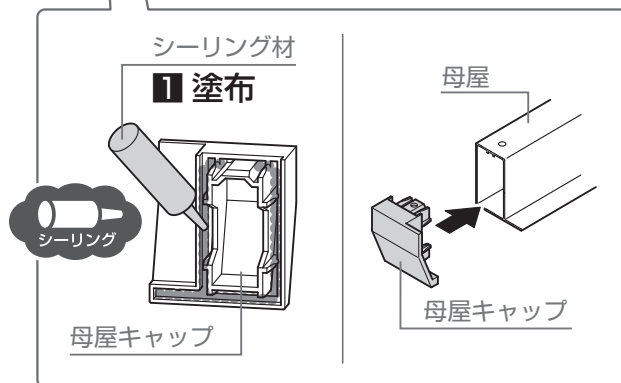
2: 前後枠キャップを前後枠に【6-4】で
取付け



3: 母屋キャップを母屋にはめ込み



4: 前後枠キャップ内側に出ているネジ
先にシーリング

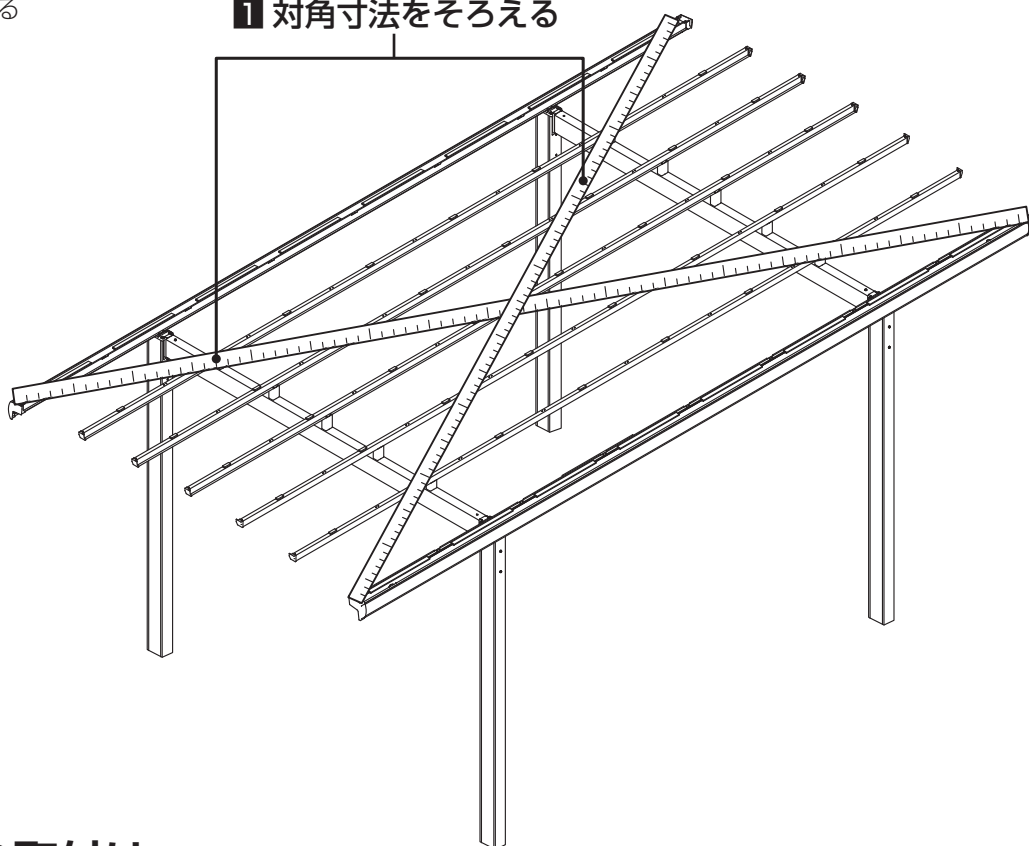


1 基本タイプの施工方法

1-11 対角寸法の確認

1: 屋根枠まわりの対角寸法をそろえる

1 対角寸法をそろえる




1-12 垂木・側枠の取付け

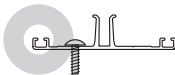
1: 側枠を前後枠、母屋に【6-4】で取付け


2: 垂木を前後枠、母屋に【6-4】で取付け

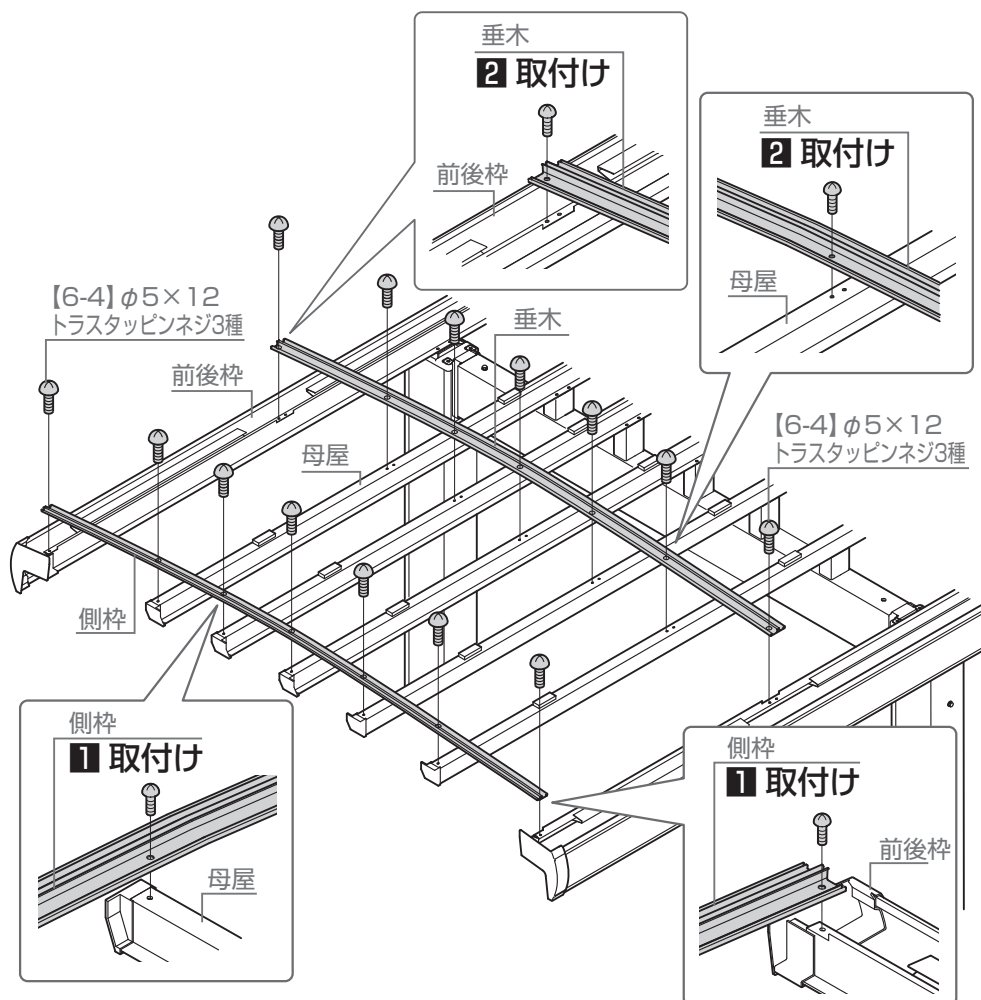
お願い

●ネジの浮き・傾きがないように取付けてください。

 **ネジの浮き**

 **ネジの浮き・傾きなし**

 **ネジの傾き**



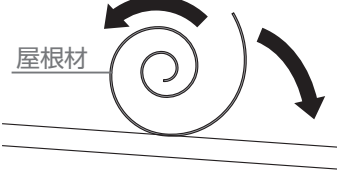
1 基本タイプの施工方法

1-13 屋根材の取付け

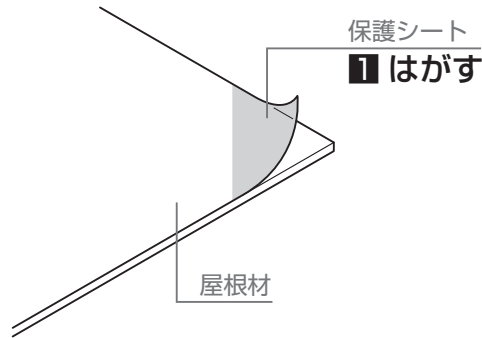
1: 屋根材の保護シートをはがす

お願い

- 屋根材は表裏を確認し、取付けてください。
- 屋根材は屋根部の上で下記のように広げてください。



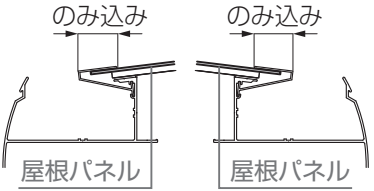
屋根材



2: 屋根材を前後枠の屋根材受けに差込み

お願い

- 前後枠(屋根材受け)のみ込み寸法は、左右均等にしてください。



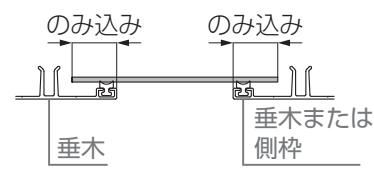
のみ込み

のみ込み

屋根パネル

屋根パネル

- 垂木または側枠のみ込み寸法は、左右均等にしてください。

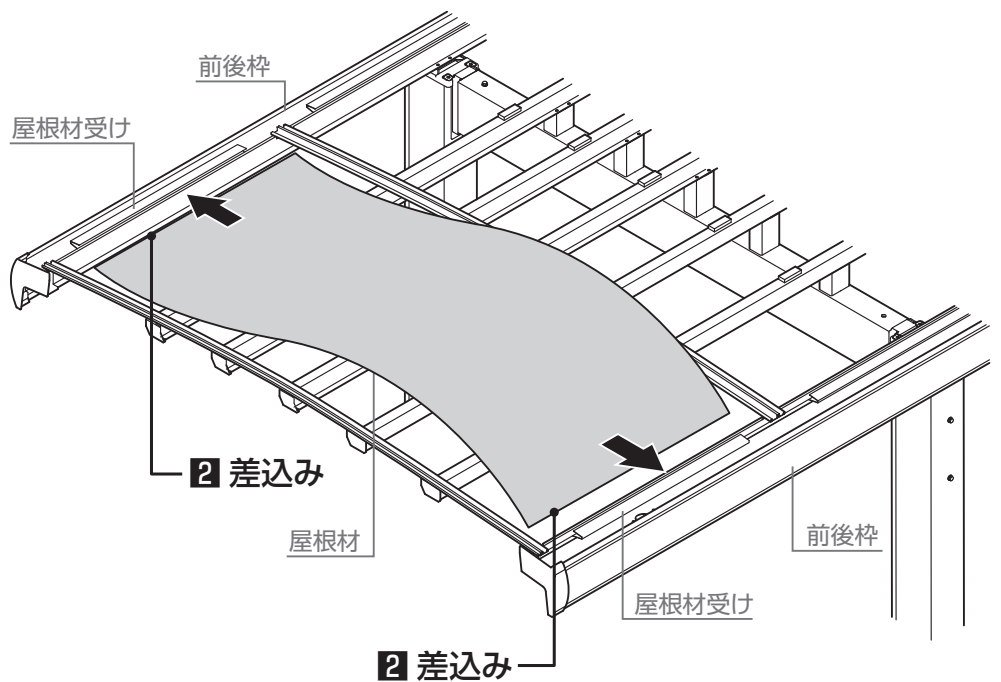


のみ込み

のみ込み

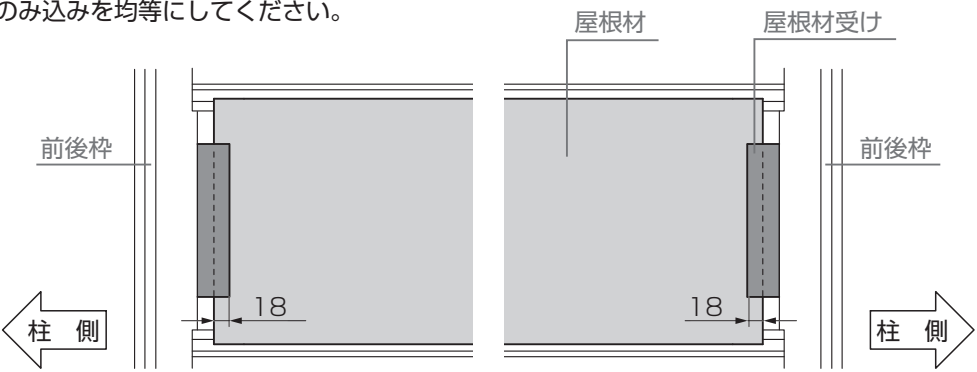
垂木

垂木または側枠



お願い

- 屋根材の両側の、のみ込みを均等にしてください。



前後枠

屋根材

屋根材受け

前後枠

柱側

18

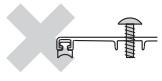
柱側

1 基本タイプの施工方法

1-14 垂木カバー・側枠カバーの取付け

お願い

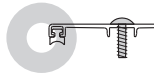
●取付けの際はネジの浮き・傾きがないように取付けてください。



ネジの浮き

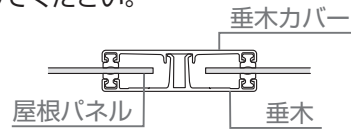


ネジの傾き



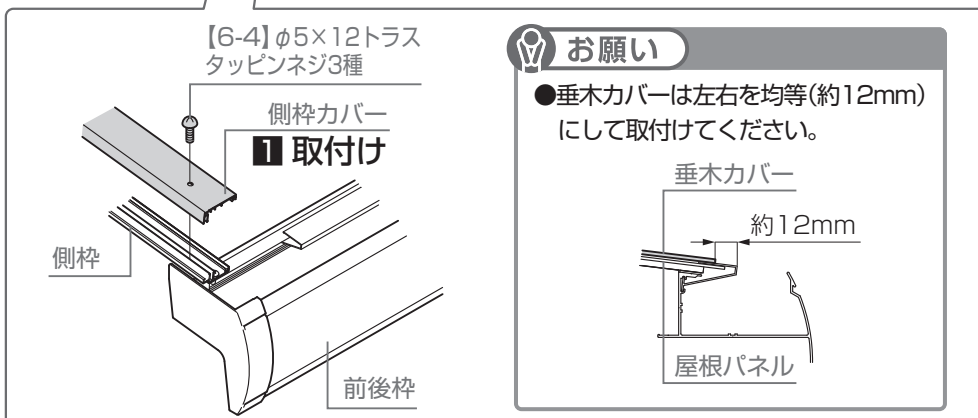
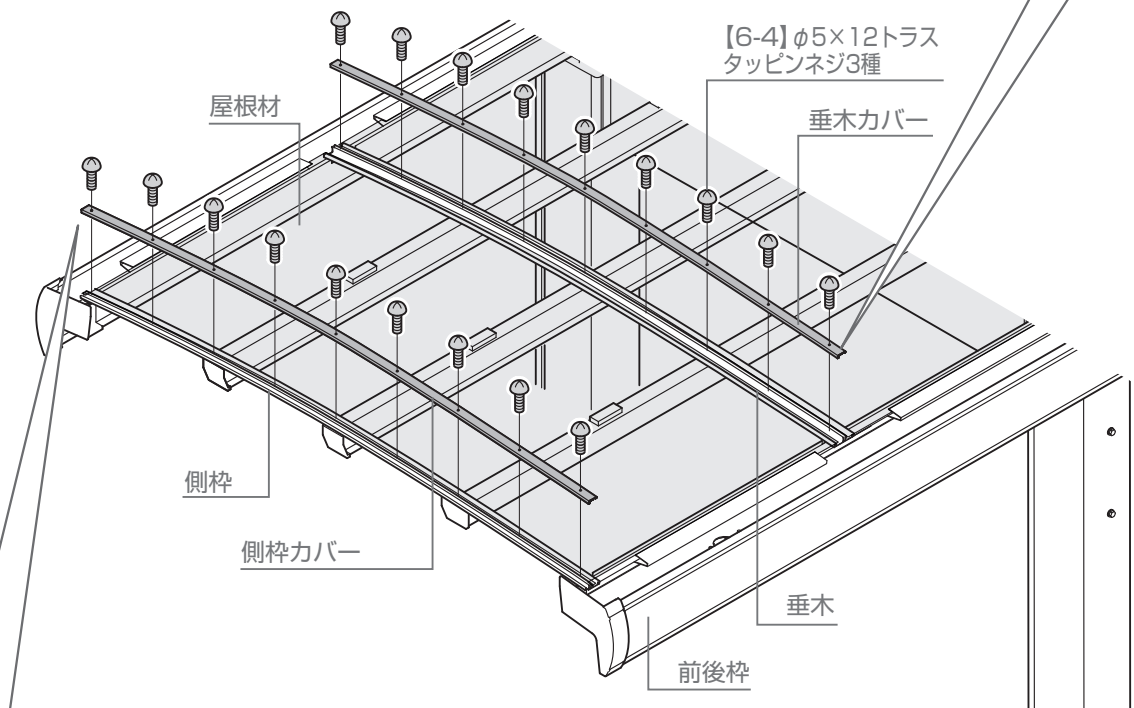
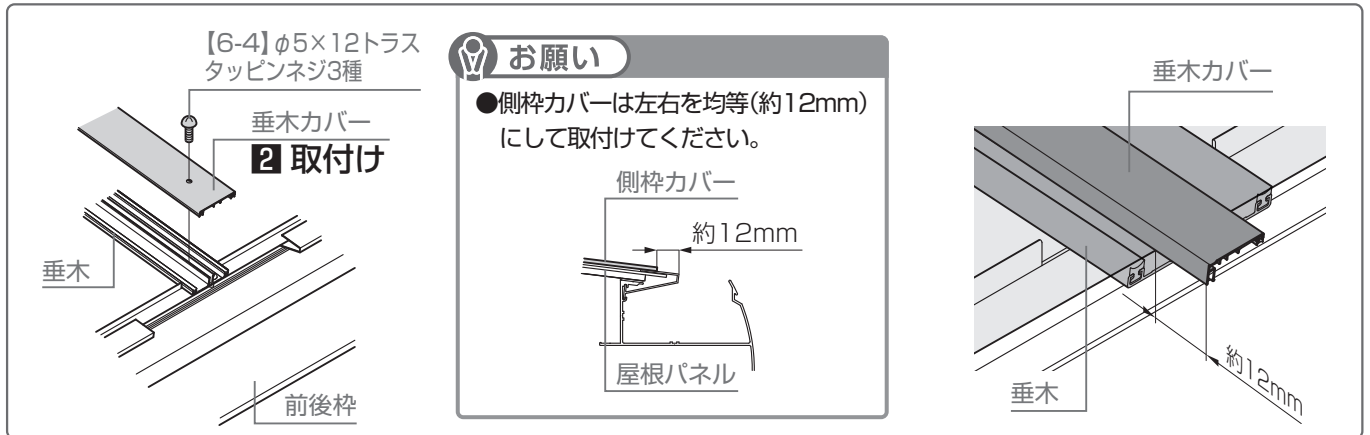
ネジの浮き・傾きなし

●垂木と垂木カバーがかみ合っていることを確認してください。



1: 側枠カバーを側枠に【6-4】で取付け

2: 垂木カバーを垂木に【6-4】で取付け

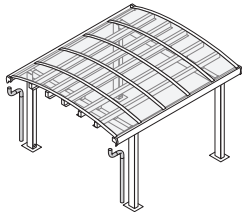


1 基本タイプの施工方法

1-15 縦樋の取付け

補足

● 縦樋は左側と右側の柱に取り付けます。



1: 縦樋を切断

お願い



柱位置を移動して
施工の場合

● 柱移動距離にあわせて、L寸法を変更してください。

2: 雨樋パッキンと雨樋アタッチメントを前後枠の水抜き穴に【6-4】で取付け

3: 雨樋穴ふさぎキャップと雨樋パッキンを前後枠の水抜き穴に【6-4】で取付け

お願い

● 使用しない水抜き穴は雨樋穴ふさぎキャップを取付けて塞いでください。

4: 【6-4】のネジ先にシーリングを塗布

5: でんでんを柱に【6-2】で取付け

6: 雨樋アタッチメントに接着剤を塗布

7: ドレンエルボを雨樋アタッチメントに取付け

8: ドレンエルボ、92°エルボ、縦樋に接着剤を塗布

9: 横樋をドレンエルボにはめ込み

10: 92°エルボを横樋にはめ込み

11: 縦樋を92°エルボにはめ込み

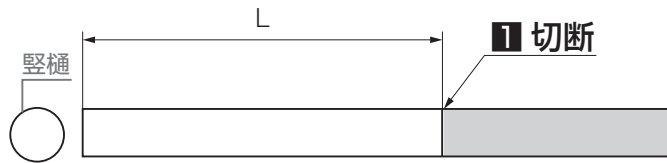
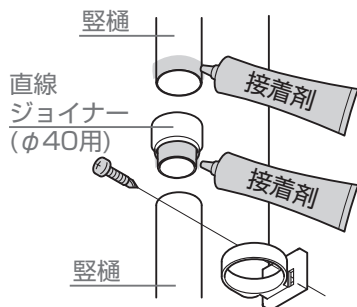
12: 92°エルボを縦樋にはめ込み

お願い



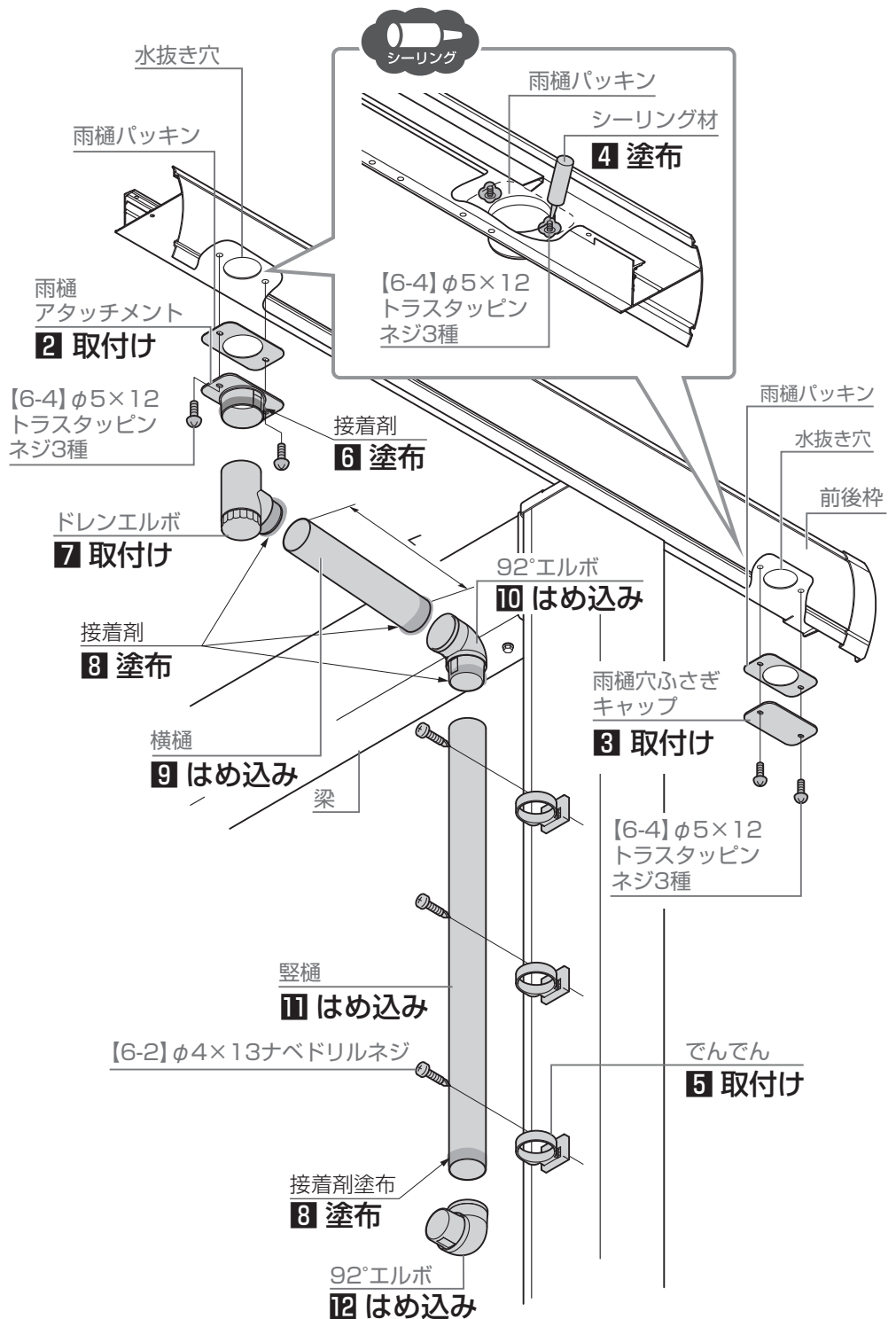
柱を内側位置移動して施工の場合(ロング柱・H28柱)

● 直線ジョイナーを使用して縦樋を延長させてください。



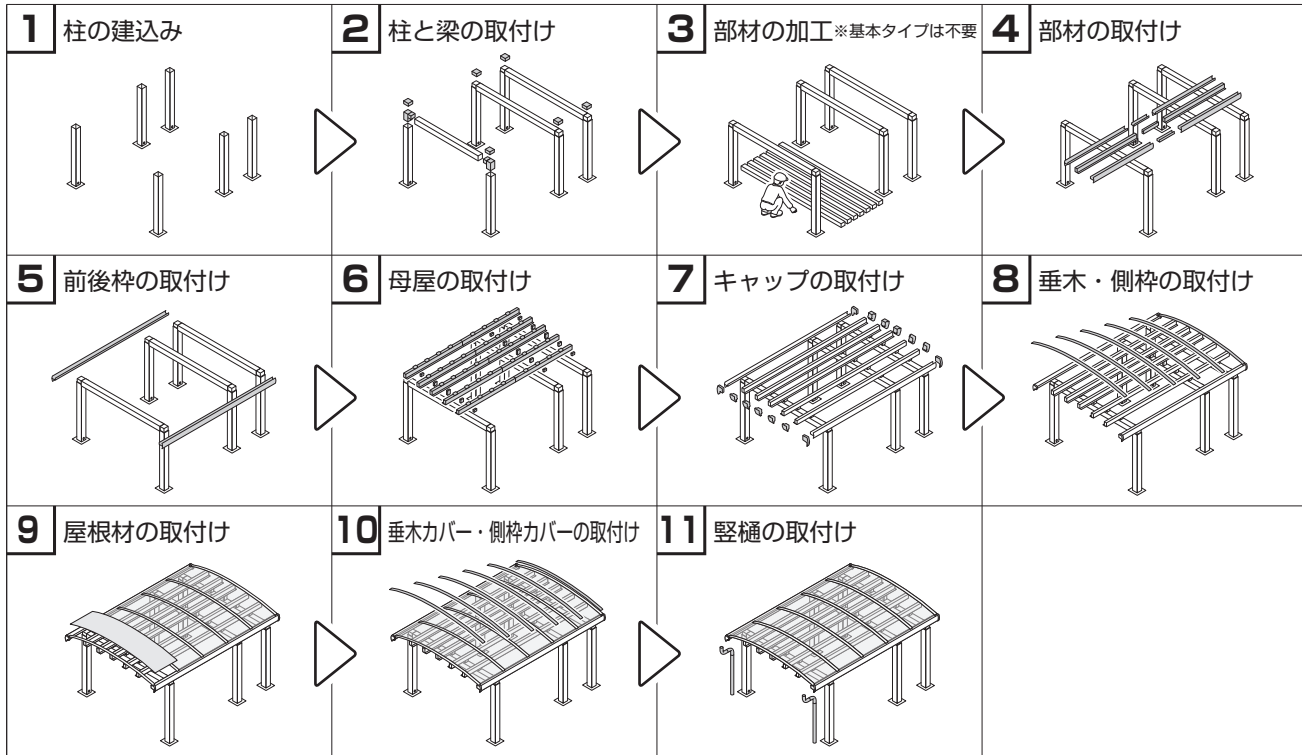
縦樋切断寸法

サイズ	L
50	613
57	766



2 連棟タイプの施工方法

2-1 施工の流れ



2 連棟タイプの施工方法



▼ 縦連棟の場合 ▼

2-2 確認事項

2-2-1 姿図

注意



▼ 柱位置を移動して施工の場合 ▼

- 柱芯々寸法±100mm以内で柱移動をしてください。



▼ 柱を内側位置移動して施工の場合 ▼

- 片側300mm以内で柱移動をしてください。
(W24~W30で施工可能です。)

お願い

- 構造計算書を添付して建築確認申請を行なっている場合、構造計算書の基礎寸法で施工してください。
- 柱内の水が抜けるように必ず碎石を敷いてください。



P.7も事前に確認してください。

補足

- ←印は【柱移動】範囲を示します。
- ◊印は【柱内側移動】範囲を示します。



▼ ロング柱の場合 ▼

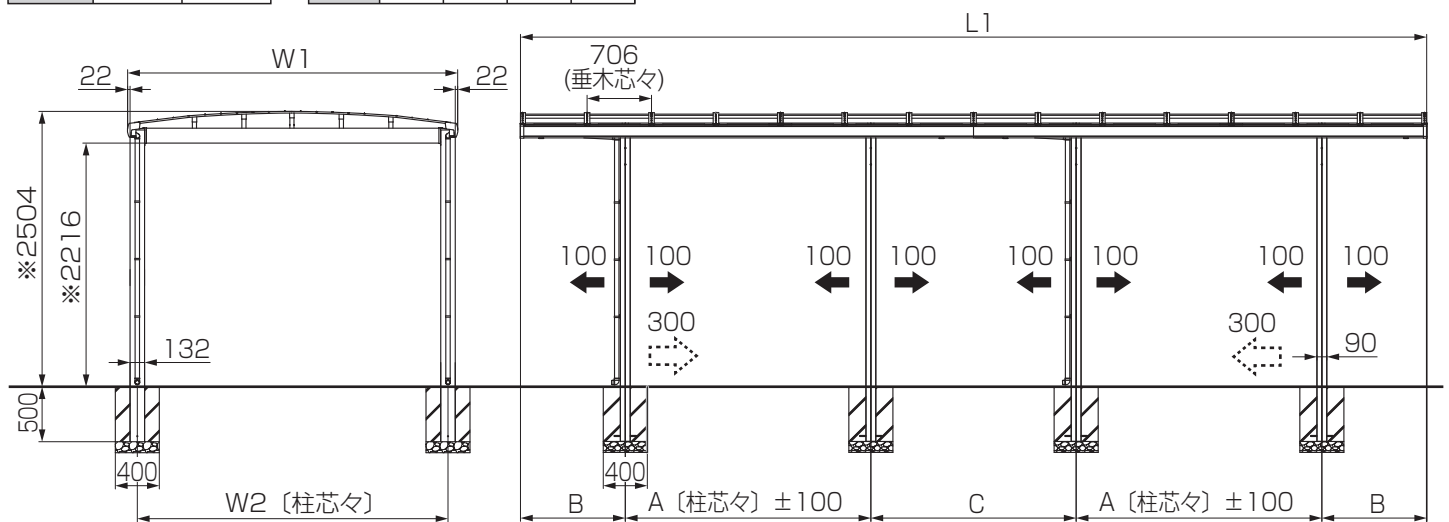
- H寸法(※)に+250してください。



▼ H28柱の場合 ▼

- H寸法(※)に+550してください。

間口	W1	W2	奥行	L1	A	B	C
W27	2702	2526	L50	9924	2900	1041	2042
W30	3002	2826	L57	11336	3300	1194	2348

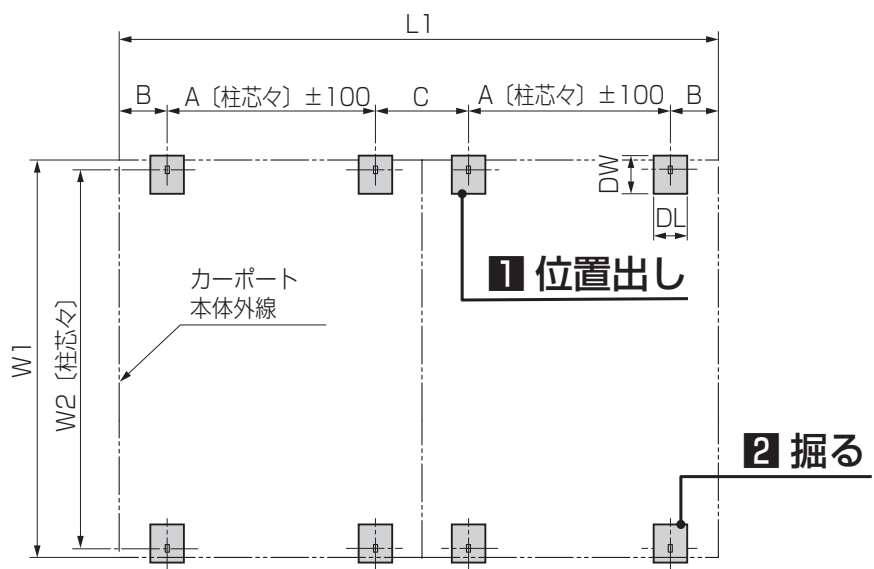


2-2-2 基礎の墨出し

- 1: 柱の埋込み位置を出す
- 2: 基礎穴を掘る



▼ 基礎寸法数値について ▼
基礎寸法「DW」「DL」は「P.8」を参照してください。



2 連棟タイプの施工方法



▼ 14延長の場合 ▼

2-2 確認事項

2-2-1 姿図

注意



▼ 柱位置を移動して
施工の場合 ▼

- 柱芯々寸法±100mm以内で柱移動をしてください。



▼ 柱を内側位置移動して
施工の場合 ▼

- 片側300mm以内で柱移動をしてください。
(W24~W30で施工可能です。)

お願い

- 構造計算書を添付して建築確認申請を行なっている場合、構造計算書の基礎寸法で施工してください。
- 柱内の水が抜けるように必ず碎石を敷いてください。



P.7も事前に確認してください。

補足

- ←印は【柱移動】範囲を示します。
- ←印は【柱内側移動】範囲を示します。



▼ ロング柱の場合 ▼

- H寸法(※)に+250してください。

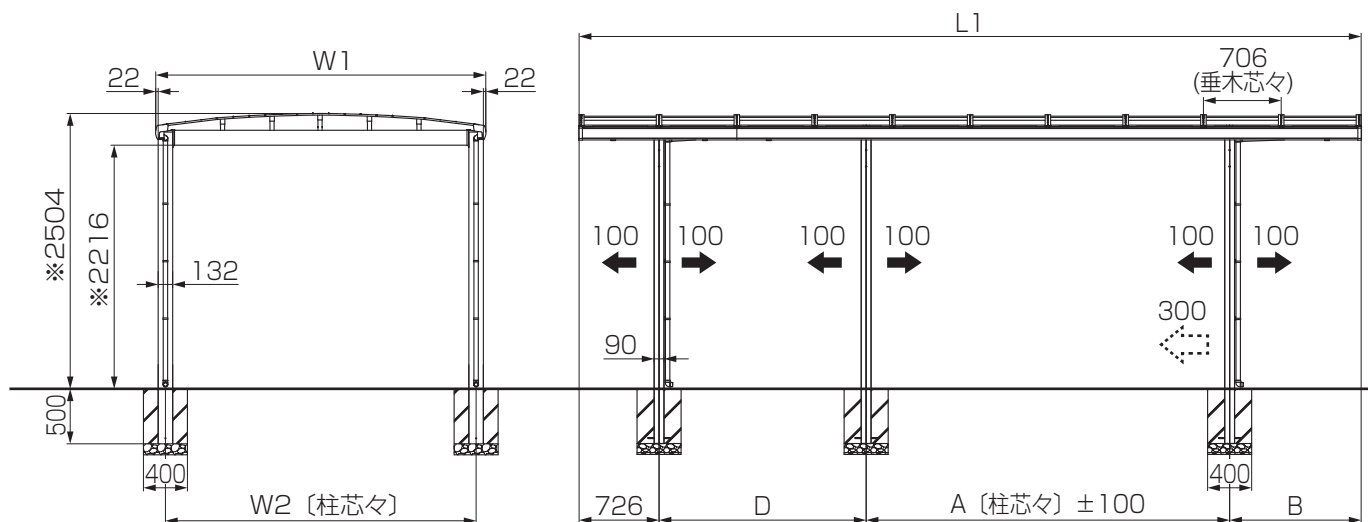


▼ H28柱の場合 ▼

- H寸法(※)に+550してください。

間口	W1	W2
W27	2702	2526
W30	3002	2826

奥行	L1	A	B	D
L50・L14	6394	2900	1041	1727
L57・L14	7100	3300	1194	1880



2-2-2 基礎の墨出し

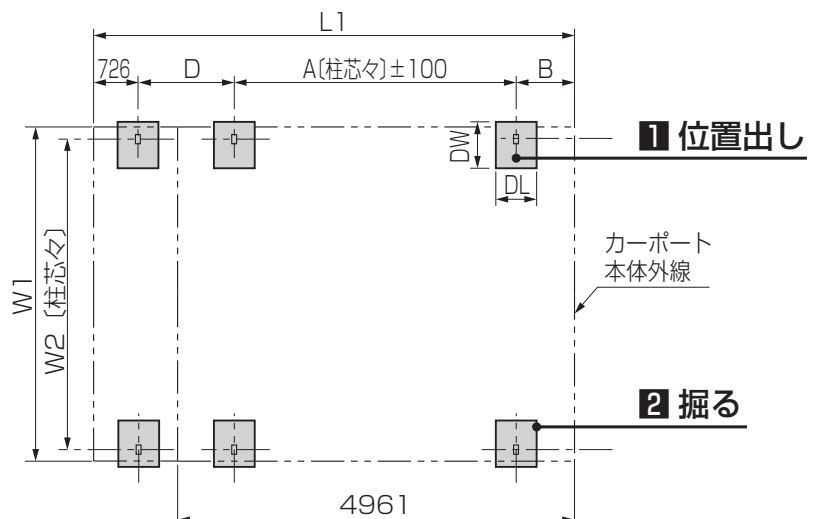
1: 柱の埋込み位置を出す

2: 基礎穴を掘る



▼ 基礎寸法数値について ▼

基礎寸法「DW」「DL」は「P.8」を参照してください。



2 連棟タイプの施工方法

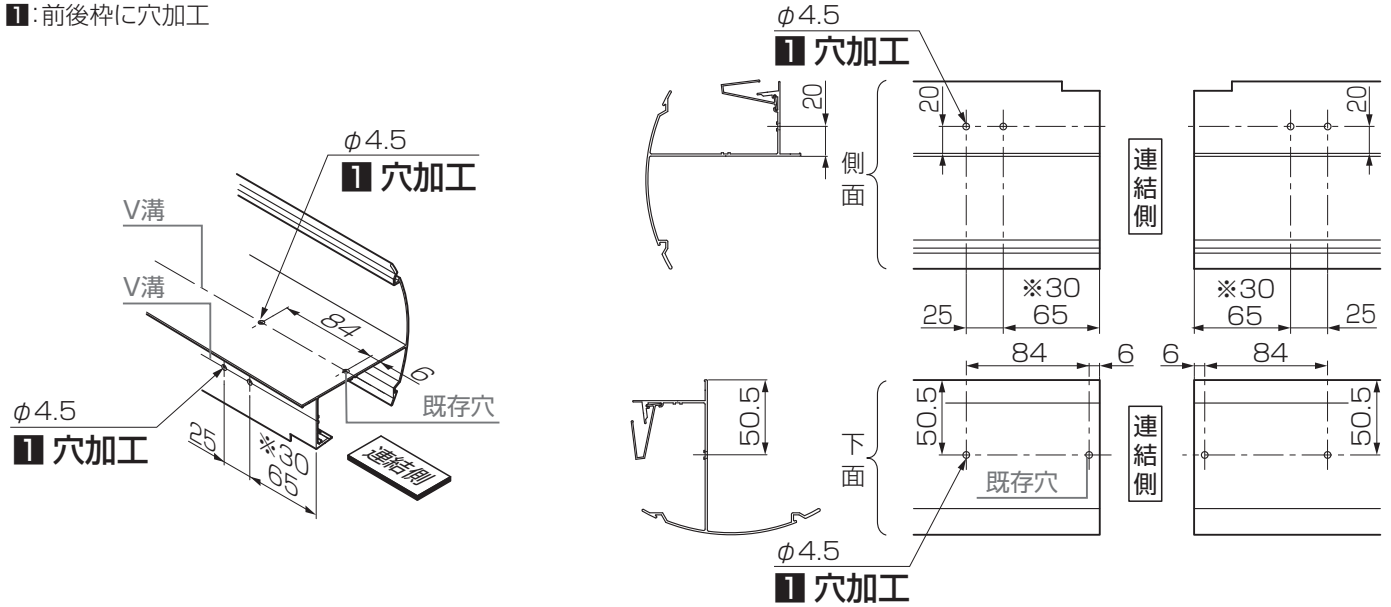
2-3 部材の加工

📌 お願い

●※印寸法は14延長の場合の寸法を示します。

2-3-1 前後枠の加工

■:前後枠に穴加工

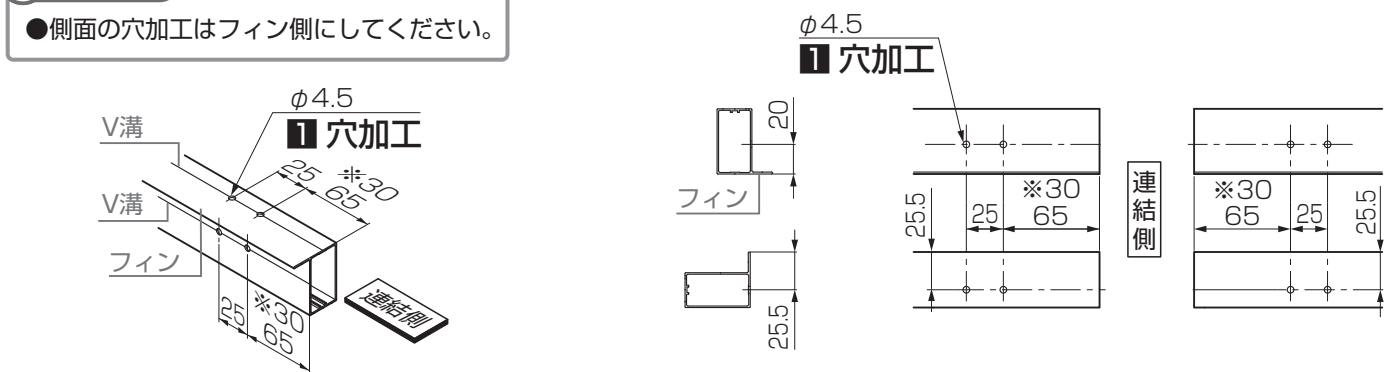


2-3-2 母屋の加工

■:母屋に穴加工

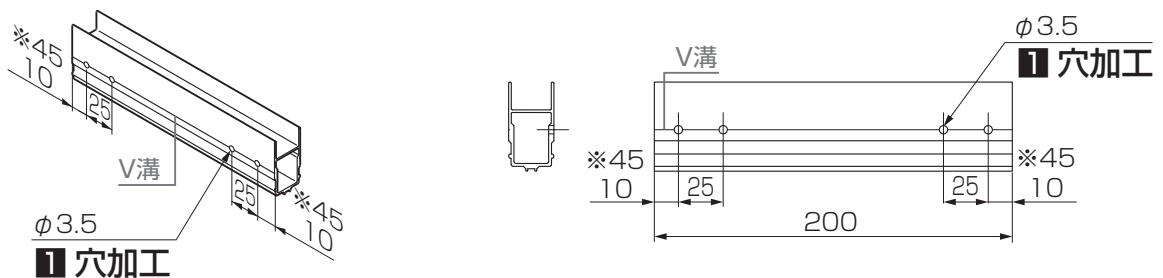
🔧 補足

●側面の穴加工はフィン側にしてください。



2-3-3 母屋スリーブの加工

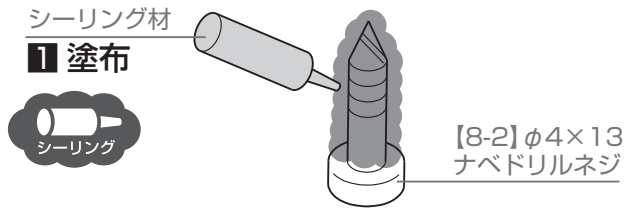
■:母屋スリーブに穴加工



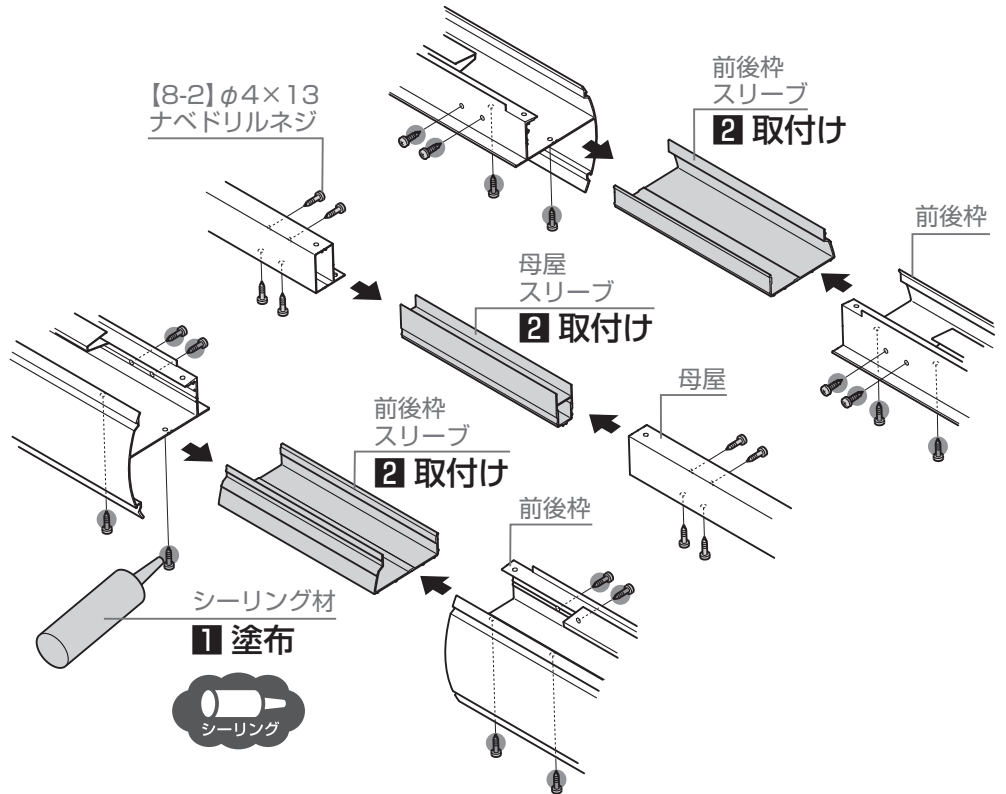
2 連棟タイプの施工方法

2-4 部材の取付け

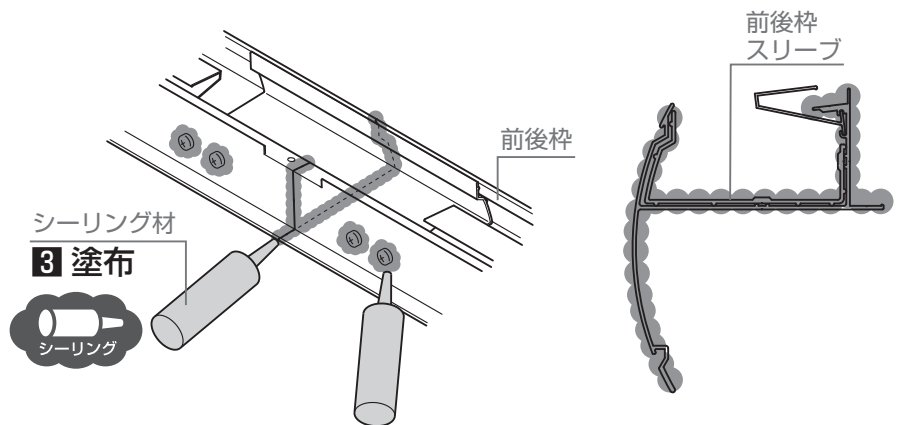
1: [8-2]のネジ部にシーリングを塗布



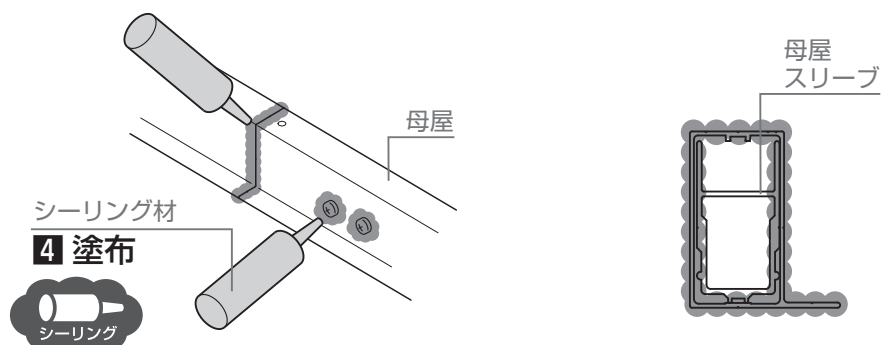
2: 前後枠、母屋にスリーブを[8-2]で取付け



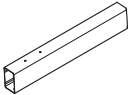
3: 前後枠の接合部とネジ部にシーリングを塗布

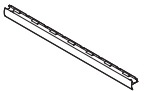
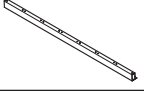



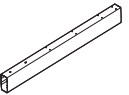
4: 母屋の接合部とネジ部にシーリングを塗布





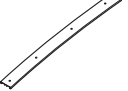

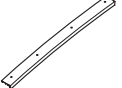
梱包明細表

【1】柱セット			
名称	略 図	員 数	
		1本入	2本入
柱		1	2

【2】長さセット					
名称	略 図	員 数			
		W27		W30	
		L14	L50 L57	L14	L50 L57
前後枠		2	2	2	2
母屋		3	3	5	5
縦樋 φ40 L=3500		-	1	-	1







【3】梁セット			
名称	略 図	員 数	
		1本入	2本入
梁		1	2

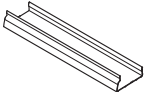

【4】ブラケットセット			
名称	略 図	員 数	
		1本入	2本入
ブラケット		1	2

【5】幅セット			
名称	略 図	員 数	
		L50	L57
垂木		6	7
垂木カバー		6	7
側枠		2	2
側枠カバー		2	2






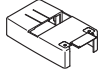







【6】部品セット			
名称	略 図	員 数	
		W27	W30
ドレンエルボ		2	2
92°エルボ(φ40)		4	4
でんでん		6	6
雨樋アタッチメント		2	2
雨樋パッキン		4	4
雨樋穴塞ぎキャップ		2	2
パネル緩衝材 フーゴA		24	40
接着剤		1	1
前後枠キャップL		2	2
前後枠キャップR		2	2
束A(フーゴA)		4(L=58)	4(L=58)
束G		2(L=95.5)	2(L=95.5)
束H		-	4(L=84.5)
束固定金具		2	2
柱キャップ		4	4
柱梁カバー		4	4
母屋キャップL		3	5
母屋キャップR		3	5

梱包明細表

【6】 部品セット (つづき)			
名 称	略 図	員 数	
		W27	W30
孔隠しシールφ10		20	28
φ8×200 アンカー棒		4	4
【6-1】M8×20 六角ボルトPW (緩み止め付)		24	24
【6-2】φ4×13 ナベドリルネジ		6	6
【6-3】φ5×110 ナベタッピンネジ1種		8	16
【6-4】φ5×12 トラスタッピンネジ3種		257	293
取扱説明書	—	1	1
取付説明書 フーゴR両支持 (基本・延長・連棟)	—	1	1


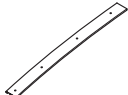
【7】 連棟部材セット (オプション)			
名 称	略 図	員 数	
		W27	W30
前後枠スリーブ		2	2
母屋スリーブ		3	5

【8】 連棟部品セット (オプション)				
名 称	略 図	員 数		
		W27	W30	W27・30
		L50・57	L50・57	L14
ドレンエルボ		2	2	2
92° エルボ(φ40)		4	4	4
でんでん		6	6	6
雨樋アタッチメント		2	2	2
雨樋パッキン		4	4	4
雨樋穴塞ぎキャップ		2	2	2
パネル緩衝材 フーゴF・A		24	40	16

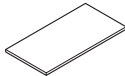
【8】 連棟部品セット (オプション) (つづき)				
名 称	略 図	員 数		
		W27	W30	W27・30
		L50・57	L50・57	L14
接着剤		1	1	1
束A(フーゴA)		4(L=58)	4(L=58)	2(L=58)
束G		2(L=95.5)	2(L=95.5)	1(L=95.5)
束H		—	4(L=84.5)	2(L=84.5)
束固定金具		2	2	1
柱キャップ		4	4	2
柱梁カバー		4	4	2
孔隠しシールφ10		20	28	14
φ8×200 アンカー棒		4	4	2
【8-1】M8×20 六角ボルトPW(緩み止め付)		24	24	12
【8-2】φ4×13 ナベドリルネジ		46	62	62
【8-3】φ5×110 ナベタッピンネジ1種		8	16	8
【8-4】φ5×12 トラスタッピンネジ3種		230	262	79

梱包明細表




【9】 連棟幅セット (オプション)

名 称	略 図	員 数						
		2本入	3本入	4本入	5本入	6本入	7本入	8本入
垂木		2	3	4	5	6	7	8
垂木カバー		2	3	4	5	6	7	8

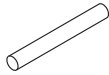
【10】 屋根材セット

名 称	略 図	員 数			
		1枚入	2枚入	3枚入	4枚入
屋根材		1	2	3	4



【11】 柱移動用部品セット (オプション)

名 称	略 図	員 数
直線ジョイナー (φ40)		1
直線ジョイナー (φ60) ※本施工では不要です		1
【11-1】φ5×13 ナベドリルネジ		8

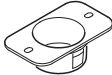

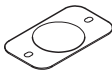
【12】 縦樋セット (オプション)

名 称	略 図	員 数	
		L=1000	L=3100
縦樋 φ40		1	1

【13】 でんでんセット (オプション)

名 称	略 図	員 数
でんでん		2
【13-1】φ4×13 ナベドリルネジ		2

【14】 アタッチメントセット (オプション)

名 称	略 図	員 数
雨樋アタッチメント		1
雨樋穴塞ぎキャップ		1
雨樋パッキン		2
【17-1】φ5×12 トラスタッピンネジ3種		4


【15】 ドレンエルボセット (オプション)

名 称	略 図	員 数
ドレンエルボ φ40用		1

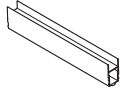

【16】 エルボセット (オプション)

名 称	略 図	員 数
92°エルボ φ40用		1

【17】 パネル緩衝材セット (オプション)

名 称	略 図	員 数
パネル緩衝材		8

【18】 柱移動補強材セット (オプション)

名 称	略 図	員 数
母屋補強材 柱移動補強材用 (L=2000)		1
【18-1】φ5×13 ナベドリルネジ		4

